

使用教科書	数学Ⅰ Standard (東京書籍) 数学Ⅱ Standard (東京書籍) 数学A Standard (東京書籍)	副教材等	チャート式 基礎からの数学Ⅰ+A (数研出版) チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B (数研出版) 類比式による 2024 数学Ⅰ+A (丸善)
学習の到達目標	数と式、集合と論証、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、図形の性質、方程式・式と証明及び図形と方程式について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。		

学 期	月	单元名	基礎力										思考力				実践力				活動内容・評価規準									
			力技 ・礼 儀 へ基 礎 人間	考 思 考 る 実 学 能 の 材 料 知 識 不 信	カ コ ミ ク シ ョ ン 能	情 報 収 集 力	想 力 力 能	課 題 を 発 見 す る 力	る 考 力 能	る 考 力 能	論 理 的 的 に 思 考 す る 力	シ 考 情 報 力 能	考 力 能	ク リ カ ル ア ク チ ス ト イ 批 判 的 的 な 思 考 す る 力	創 造 す る 力	情 報 發 信 力	課 題 を 解 決 す る 力	未 來 計 算 を 切 り 拓 く キ ャ リ	主 体 的 的 な 行 動 力	指 導 力 ム ワ ー ク	【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】	【粘り強く考え、数学的論理に基づき判断しようとする】	【問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている】					
一 学 期	4	数学Ⅰ 1章 数と式 1節 式の計算 2節 実数 3節 1次不等式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	5	2章 集合と論証 1節 集合 2節 命題と論証	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	6	3章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ 2節 2次方程式と2次不等式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	7	4章 図形と計量 1節 銳角の三角比 2節 三角比の応用 3節 三角比への応用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	9	5章 データの分析 1節 データの分析 2節 データの分析の応用 3節 仮説検定の考え方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	10	数学A 1章 場合の数と確率 1節 集合と場合の数 2節 確率とその基本性質 3節 いろいろな確率	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	11	2章 図形の性質 1節 三角形と比 2節 円の性質 3節 空間図形	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
二 学 期	12	数学II 1章 方程式・式と証明 1節 多項式・分数式の計算 2節 2次方程式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	1	3節 高次方程式 4節 式と証明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	2	2章 図形と方程式 1節 点と直線 2節 円 3節 軌跡と領域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三 学 期	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

評価の観点内容										評価方法									
知識・技能										授業態度 (主体的に学習に取り組む態度)									
思考・判断・表現										課題 (知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)									
主体的に学習に取り組む態度										課題実力検査 (知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)									

使用教科書	東京書籍 数学Ⅱ Standard 数学B Standard 数学C Standard	副教材等	チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B チャート式 基礎からの数学C
学習の到達目標	三角関数、数列、指數関数・対数関数、微分積分、統計的推測、関数の極限、ベクトル、平面上の曲線、複素数平面について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。		

評価の観点内容		評価方法
知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解できるか。数学と人間の活動の関係について認識を深めることができたか。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けたか。	・授業態度（主体的に学習に取り組む態度） ・課題（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） ・課題実力検査（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） ・定期検査、小テスト（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）
思考・判断・表現	性質を見いだし、論理的に考察することができたか。性質などに基づいて判断することができたか。数学と人間の関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察することができる。	
主体的に学習に取り組む態度	積極的に学ぼうとする姿勢が見られたか。数学のよさを認識し数学を活用したり、粘り強く考え方や数学的論理に基づいて判断したりしようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	

使用教科書	東京書籍 数学II Standard 数学B Standard	副教材等	チャート式 基礎からの数学II+B チャート式 基礎からの数学III+C
学習の到達目標	三角関数、数列、指數関数・対数関数、微分と積分、統計的な推測、関数と極限、ベクトル、平面上の曲線について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。		

学 期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準	
			力能 移 換 思考 など、 学 習 基 礎 人 間 の 材 料 か ら の 使 用 方 法 に よ る 理 解 と 見 る 方 法 を 予 測 す る 力	力コ ミュ ニケ シ ヨン 能	情報 収 集 力	る思 考 力	課 題 を 解 き る 方 法	論 理 的 的 な 思 考 力	シ考 情 報 キ ー 分 析 力	創 造 力	ア未 来 計 画 を 作 成 す る 方 法	主 体 的 な 行 動 方 法	
一 学 期	4	数学II 3 三角関数 ①一般角と弧度法 ②加法定理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・角度の大きさを一般角、弧度法で表すことを理解している。 【思考・判断・表現】 ・加法定理から、2倍角の定理、半角の定理、合成などの公式を作成することができます。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く考え、数学的論理に基づき判断しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。
	5	数学II 4 指数関数・対数関数 ①指数関数 ②対数関数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・指数、対数の性質を理解し簡単な式の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・指数関数、対数関数の特徴をとらえグラフで指数対数の性質を表現することができます。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。
	6	数学B 1 数列 ①数列 ②いろいろな数列 ③漸化式と数学的帰納法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・数の並び方の規則を見つけ、一般項や和を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・数の並び方の特徴から漸化式で数列を表したり、漸化式から一般項を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学的帰納法の考え方を理解し様々な関係を推測する態度を身に付ける。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。
	7	数学II 5 微分と積分 ①微分の考え方 ②積分の考え方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・微分係数や導関数の定義を理解し求めることができます。 【思考・判断・表現】 ・積分の定義を理解し、積分を用いてグラフの面積と定積分の値の関係について考察することができます。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な数量の変化を微分積分の考え方を通して考察できる。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。
	9	数学B 2 統計的な推測 ①標本調査 ②確率分布 ③正規分布 ④統計的な推測	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・確率変数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・二項分布と分散、標準偏差の関係を理解し考察することができます。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・仮説検定の考え方を理解しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。
	10	数学III 1 関数と極限 ①関数 ②数列の極限 ③関数の極限	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・数列や関数の極限を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・合成関数や逆関数の特徴をとらえグラフに書くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・極限の求め方を理解しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。
二年 (実践力養成期)	11	数学C 1 ベクトル ①平面上のベクトル ②ベクトルの応用 ③空間におけるベクトル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・ベクトルの和、差を理解し、ベクトルを作図や成分表示で表現できる。 【思考・判断・表現】 ・内積の計算ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・位置ベクトルの考え方を理解できる。 ・ベクトルの方程式や存在範囲を説明しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。
	12	数学III 2 微分 ①微分法 ②いろいろな関数の導関数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・微分係数や導関数の定義を理解し求めることができます。 【思考・判断・表現】 ・微分係数を利用して増減表やグラフを書くことができる。 ・積分の定義を理解し、積分を用いてグラフの面積と定積分の値の関係について考察することができます。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な数量の変化を微分積分の考え方を通して考察できる。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。
	1	数学C 1 平面上の曲線 ①2次曲線 ②媒介変数表示と極座標	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・2次式で表される曲線と、それらの2次曲線の基本的な性質について理解している。 【思考・判断・表現】 ・放物線、楕円、双曲线を相互に関連付けて捉え考察できる。 ・媒介変数表示や極座標の考え方を問題解決に活用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を平面上の曲線の考え方を用いて考察するよさを認識している。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。
	2	数学III 2 微分 ①微分法 ②いろいろな関数の導関数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・微分係数や導関数の定義を理解し求めることができます。 【思考・判断・表現】 ・微分係数を利用して増減表やグラフを書くことができる。 ・積分の定義を理解し、積分を用いてグラフの面積と定積分の値の関係について考察することができます。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な数量の変化を微分積分の考え方を通して考察できる。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。
	3	数学C 1 平面上の曲線 ①2次曲線 ②媒介変数表示と極座標	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・2次式で表される曲線と、それらの2次曲線の基本的な性質について理解している。 【思考・判断・表現】 ・放物線、楕円、双曲线を相互に関連付けて捉え考察できる。 ・媒介変数表示や極座標の考え方を問題解決に活用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を平面上の曲線の考え方を用いて考察するよさを認識している。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。

評価の観点内容			評価方法
知識・技能			授業態度 (主体的に学習に取り組む態度) 課題 (知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度) 課題実力検査 (知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度) 定期検査、小テスト (知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)
思考・判断・表現			性質を見だし、論理的に考察することができたか。性質などに基づいて判断することができたか。数学と人間の関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察することができる。
主体的に学習に取り組む態度			積極的に学ぼうとする姿勢が見られたか。数学のよさを認識し数学を活用したり、粘り強く考え数学的論理に基づいて判断したりしようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

使用教科書	数学II・A Standard (東京書籍) 数学B・C Standard (東京書籍)	副教材等	チャート 数学I+A チャート 数学II+B・C	数研出版 数研出版
学习の到達目標	平面上の曲線、複素数平面について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。			

学 期	月	単元名	基礎力		思考力				実践力				活動内容・評価規準				
			接 触 ・ 社 会 的 の 基 礎 人 間 力	識 思 考 ・ 実 践 的 の 材 料 や 根 據 と な る 学 力 (知)	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 能 力	情 報 収 集 力	想 像 力 ・ 未 来 を 予 測 す る 力	課 題 を 発 見 す る 力	客 觀 的 に 物 事 を 見 つ め る 力 (メタ認知)	論 理 的 の 思 考 力	シ 情 報 分 析 力 (批 判 的 の 思 考 力) (クリ ティ カル)	創 造 す る 力	情 報 發 信 力	課 題 を 解 決 す る 力	未 来 を 切 り 拓 く キ ャ リ ア 設 計 力	主 体 的 な 行 動 力	(協 働 力 「ム ワ ー ク」)
三年 (実 践 力 養 成 期)	一 学 期	4 C 2章 平面上の曲線	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・曲線の種類・概形の判別ができる。 ・複素数を複素数平面上の点や图形で表すことができる。 【思考・判断・表現】 ・複素数の和や差を平面上の点の平行移動と関連付けて考察することができる。 ・方程式と様々な曲線との関係を考察することができる。 ・複素数の图形的な意味を理解し、回転運動、拡大縮小について考察できる。
		5 C 3章 複素数平面	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・2次曲線と直線の共有点の個数、接線について判別式を利用して考察しようとしている。 ・複素数の積や商の图形的な意味について、複素数平面上での位置を通して考察しようとしている。
		6 7 数学 I・A・II の復習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	プリント、問題集等を使って、数学 I・A・II の総復習を行う。基礎・基本の問題や入試の頻出問題を反復練習し、理解することによって計算力や活用力を身に付ける。
三年 (実 践 力 養 成 期)	二 学 期	9 数学 II・B・C の復習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 プリント、問題集等を使って、数学 II・B・C の総復習を行う。基礎・基本の問題や入試の頻出問題を反復練習し、理解することによって計算力や活用力を身に付ける。
		10 大学入試対策講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【思考・判断・表現】 大学入試の過去問題や模試の過去問題を使って学習することで、試験に対応した数学の思考力・活用能力を身に付ける。
		11 12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 共通テストの過去問題や模擬試験の過去問題を活用して、思考力・活用力を身に付ける。
三年 (実 践 力 養 成 期)	三 学 期	1 大学入試対策講座 個別指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 大学入試に向けた最終対策講座
		2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2次試験で数学が必要な生徒が個別指導を受ける。
		3															

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解できるか。数学と人間の活動の関係について認識を深めることができたか。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けたか。	・授業態度 (主体的に学習に取り組む態度) ・課題 (知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度) ・課題実力検査 (知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度) ・定期検査、小テスト (知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)
思考・判断・表現	性質を見いだし、論理的に考察することができたか。性質などに基づいて判断することができたか。数学と人間の関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数学的に考察することができる。	
主体的に学習に取り組む態度	積極的に学ぼうとする姿勢が見られたか。数学のよさを認識し数学を活用したり、粘り強く考え数学的論理に基づいて判断したりしようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	

使用教科書	数学III・A Standard (東京書籍) 数学B・C Standard (東京書籍)	副教材等		チャート チャート チャート	数学I+A 数研出版 数学II+B 数研出版 数学III+C 数研出版
学習の到達目標	微分、積分、平面上の曲線、複素数平面について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し處理する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。				

学 期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準	
			力挨拶・礼儀 (基礎人間)	と思考する・実力践く (知識や根拠)	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未 来を予測する力	課題を見出す力	力客観的・論理的思考力	シグマ(力へク分析力)・シグマ(批判的・批判的思考)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設計未来力	主体的な行動力	
三年 (実践力養成期) 一学期	4	III 2章 微分 III 3章 微分の応用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・微分によって関数の増減を判定してグラフが書けることを理解している。 ・複素数を複素数平面上の点や图形で表したりすることができる。 ・複素数の和や差を、平面上の点の平行移動と関連付けて考察することができる。 【思考・判断・表現】 ・区分求積法で面積を求めるしくみについて考察できる。 ・方程式と様々な曲線との関係を考察することができる。 ・定積分を利用することで面積を求めることができる。 ・対数微分法を用いて、指數関数の導関数を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・微分で学んだことを、具体的な事象の考察に活用しようとしている。 ・積分とその応用で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。 ・複素数の積や商の图形的な意味について、複素数平面上での位置を通じて考察しようとしている。
	5	III 4章 積分とその応用 C 2章 平面上の曲線	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・プリント、問題集等を使って、数学I II III ABCの総復習を行う。基礎・基本の問題や入試の頻出問題を反復練習し、理解することによって計算力や活用力を身に付ける。
	6 7	C 3章 複素数平面	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【思考・判断・表現】大学入学試験の過去問題や模試の過去問題を使って学習することで、試験に対応した数学の思考力・活用能力を身に付ける。
三年 (実践力養成期) 二学期	9 10	I II III ABCの復習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】プリント、問題集等を使って、数学I II III ABCの総復習を行う。基礎・基本の問題や入試の頻出問題を反復練習し、理解することによって計算力や活用力を身に付ける。
	11 12	大学入試特別講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 大学入学試験に向けた最終対策講座 国公立大学、難関私立大学の過去問題を解くことで、国公立大学の2次試験に対応した力を付けることを目標に学習する。
三年 (実践力養成期) 三学期	1	大学入試特別講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 大学入学試験に向けた最終対策講座 国公立大学、難関私立大学の過去問題を解くことで、国公立大学の2次試験に対応した力を付けることを目標に学習する。
	2	2次試験対策	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 大学入学試験に向けた最終対策講座 国公立大学、難関私立大学の過去問題を解くことで、国公立大学の2次試験に対応した力を付けることを目標に学習する。

		評価の観点内容	評価方法
知識・技能		基本的な概念や原理・法則を体系的に理解できるか、数学と人間の活動の関係について認識を深めることができたか。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けたか。	・授業態度 (主体的に学習に取り組む態度) ・課題 (知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度) ・課題実力検査 (知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度) ・定期検査、小テスト (知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)
思考・判断・表現		性質を見いだし、論理的に考察することができたか。性質などに基づいて判断することができたか。数学と人間の関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数学的に考察することができる。	・授業態度 (主体的に学習に取り組む態度) ・課題 (知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度) ・課題実力検査 (知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度) ・定期検査、小テスト (知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)
主体的に学習に取り組む態度		積極的に学ぼうとする姿勢が見られたか。数学のよさを認識し数学を活用したり、粘り強く考え数学的論理に基づいて判断したりしようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・授業態度 (主体的に学習に取り組む態度) ・課題 (知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度) ・課題実力検査 (知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度) ・定期検査、小テスト (知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)

使用教科書	高等学校 科学と人間生活（第一学習社）	副教材等	新課程版ネオパルノート科学と人間生活（第一学習社）
学習の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察・実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。 ・科学技術の発展が、今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解する。 ・身近な自然の事物・現象および日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ、科学と人間生活とのかかわりについて認識を深める。 ・自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえて、これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察する。 	

学 期	月	単元名	基礎力												思考力				実践力				活動内容・評価規準
			探 査 ・ 社 会 ・ 國 際 基 礎 開 拓 開 拓 力	な 思 考 ・ 学 ・ 力 実 ・ 知 の 基 礎 開 拓 開 拓 力	コ ミュ ニ ケ シ ョ ン 能 力	情 報 収 集 力	想 像 力 ・ 未 來 を 予 測 す る 力	課 題 を 発 見 す る 力	客 觀 的 に 認 知 す る 力	論 理 的 の 思 考 方 法	（ ク リ テ イ カ ル シ キ ン ） 情 報 分 析 ・ 解 決 方 法	創 造 す る 力	情 報 交 信 力	課 題 を 解 決 す る 力	計 本 力 を 切 り 拓 く 方 法	主 体 的 な 行 動 力	協 力 ・ ム ワ ー ク						
一 学 期	4	第Ⅰ章 物質の科学 第1節 材料とその利用 ①プラスチックの特徴 ②プラスチックの分類と用途（1）	○	○	○	○		○							○				【知識・技能】・わたしたちの身のまわりにあるプラスチックの特徴と、プラスチックの原料について概ね理解する。 ・プラスチックその原料となる物質は、おもに炭素原子と水素原子からなる有機物であることを知識を身に付けている。				
	5	③プラスチックの分類と用途（2） ④さまざまなプラスチック ⑤金属と人間生活 ⑥金属とその製錬（1）	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○		【知識・技能】・高吸水性樹脂、導電性樹脂、光透過性樹脂、生分解性プラスチックなどの新しいプラスチックの性質や用途について理解している。 ・プラスチックの位置と用途において、実験・観察などを通じて科学的に思考できる。・熱に対する性質を調べることによって、プラスチックを熱可塑性樹脂と熱硬化性樹脂に分類することができる。					
	6	⑦金属とその製錬（2）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		【知識・技能】・鉄について、その性質や製錬方法、利用法などを理解している。・アルミニウムと鋼について、その性質や製錬方法などを理解している。 ・資源の再利用について、資源の種類やその利用の必要性について学習する態度を身に付けている。					
	7	⑧金属のさびと合金 ⑨資源の再利用（1） ⑩資源の再利用（2）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		【知識・技能】・金属性とガラスの再利用を学び、再利用の必要性について科学的に認識する態度を身に付けている。					
	9	第Ⅱ章 生命の科学 第1節 ヒトの生命現象 ①タンパク質のはたらきと構造 ②遺伝子とDNA ③タンパク質の合成 ④血糖濃度の調節	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○		【知識・技能】・タンパク質の構造やはたらきについて、理解している。・遺伝子によって決まっているヒトの物質に興味を抱き、DNAの構造や遺伝子の働きについて理解している。・DNAの塩基配列が、ペア鎖構造や配列順序で書き及ぶことを理解している。 【思・判・表】・遺伝子の構造や、内部構造の維持の重要性について理解し、血糖濃度の調節のしくみに関する知識を習得している。					
	10	⑤血糖濃度と糖尿病 ⑥病原体の排除（1） ⑦病原体の排除（2） ⑧ヒトの視覚（1） ⑨ヒトの視覚（2）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		【知識・技能】・身近な病気である糖尿病について関心をもち、糖尿病の原因、治療法、注意点などを理解している。・生体防衛のうち、免疫の仕組み、白血球による食作用のしくみについて理解している。・抗体産生による生体防衛のしくみ、および二次応答を利用した予防接種のしくみ、さらにアルギニーについて理解し、知識を身に付けている。 【主観的態度】・ヒトの視覚について興味をもち、ヒトの眼の構造を習し、視細胞の種類やはたらきについて的確に表現できる。					
二 学 期	11	第Ⅲ章 熱や光の科学 第2節 光の性質とその利用	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○		【知識・技能】・身のまわりのさまざまなお光に関心を抱き、光の速さが解説された過程について理解している。・身边に感じられる光の反射・屈折の現象に興味をもち、実験を通して、そのしくみを物理的な視点で理解している。・身のまわりの光の分散・散乱に関心を抱き、そのしくみについて、軽快に理解している。					
	12	①光の発生と速さ ②光の反射・屈折 ③光の分散	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○		【知識・技能】・身のまわりの光の回折・干涉・偏光に関心を抱き、そのしくみについて、物理的な視点から理解している。・日常生活で利用される電磁波に興味を抱き、情報通信・医療・物質の解析や非破壊検査への電磁波の利用について学習し、電磁波のこれからの人間生活への貢献について理解できる。					
	1	④光の分散 ⑤光の回折・干涉・偏光 ⑥磁波の種類とその利用（1） ⑦電磁波の種類とその利用（2）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		【知識・技能】・身にみられる光の回折・干涉・偏光に興味を抱き、そのしくみについて、物理的な視点から理解している。					
三 学 期	2	第IV章 地球や宇宙の科学 第1節 自然景観と自然灾害 ①日本列島のならきと ②火山活動と地表の変化 ③火山災害と防災 ④地震活動と地表の変化	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○		【知識・技能】・身のまわりにある景観に関心をもち、日本列島の特徴とその成因、日本列島付近のブレートの動きについて科学的に理解している。・日本の地震に関心をもち、地震の発生のしくみや、日本列島の地震活動などをデーターとして、統計的・科学的に整理して理解している。 【思・判・表】・日本列島の火山に興味を抱き、火山の噴火によって噴き出される噴出物、火山の噴火がおこる原因、火山の形とマグマの関連性、および日本の火山活動について、論理的に思考できる。 【主観的態度】・火山の災害と防災について意欲的に学習する態度を示し、火山の噴火によって直接およぼされる被害や二次灾害、火山噴火の予兆と防災について、科学的・論理的に理解し、的確に表現できる。					
	3	⑤地震災害と防災 ⑥水のはたらきと地表の変化（1） ⑦水のはたらきと地表の変化（2） ⑧気象災害と防災	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○		【知識・技能】・地震災害と防災について、意欲的に学習する態度を示し、地震が直接および被災地による一次災害、地震の予知防災について、科学的に理解している。 【思・判・表】・気象災害と防災について関心をもち、豪雪、台風、集中豪雨などの気象災害など、日本列島で見られる気象災害の特徴とそれがおこるしくみについて、科学的に理解している。また、土砂災害の防災について、論理的に思考できる。 【主観的態度】・身近にある河川や湖沼、海に興味をもち、河川のはたらきや海水のはたらきによって形成された地形について、科学的にその形成のようすを表現できる。					

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・現象を通して現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身に付け、これらの科学技術と人間生活のあり方について理解する。 また、身近な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付ける。	授業、実験中での姿勢 ・実験レポート 定期考査 ・提出課題、小テスト
思考・判断・表現	身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。 そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	
主体的に学習に取り組む態度	身近な事物・現象に関心や探究心をもち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身に付ける。	

使用教科書	高等学校生物基礎(啓林館)			副教材等	Navi & トレーニング生物基礎(啓林館) ニューステージ生物図表(浜島書店)									
学習の到達目標		現代生物学の基礎となる代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系といった基礎的な内容を、最先端の生物学を織り交ぜながら学習し、生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。												

学 期	月	单元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準					
			接 触 ・ 礼 儀 基礎人間力	な思 考・ 学 力・ 実 践 力 知識 の 材 料 や 根 柢 と	コ ミ ュ ニ ケ シ ョ ン 能 能	情 報 収 集 力	想 像 力 未 来 を 予 測 す る 力	課 題 を 発 見 す る 力	一 客 觀 的 の 認 知 事 事 を見 つ め る 力	論 理 的 の 思 考 力	創 造 す る 力 (ク リ ア イ カ ル 批 判 的 の 思 考 力	情 報 分 析 力 (ア イ カ ル キ ャ リ ア シ ョ ン の 思 考 力	情 報 發 信 力	課 題 を 解 決 す る 力	計 画 未 來 を 切 り 拓 く キ ャ リ ア 設	主 体 的 の 行 動 力	チ ー ク ラ ム ワ ー ク
一 学 期	4	【第1部 生物の特徴】 第1章 生物の特徴 第1節 生物の共通性と多様性	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・多様な生物の共通点がわかる。 【思考・判断・表現】 ・生物の共通点と相違点を考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・多様な生物に関心をもち、形態や生活の多様さを知ろうとする意欲をもっている。
	5	第2節 生物とエネルギー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・葉緑体とミトコンドリアを理解する。 【思考・判断・表現】 ・代謝におけるエネルギーを考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について調べようとする。
	6																【知識・技能】 ・DNAの二重らせん構造と塩基について理解できる。 【思考・判断・表現】 ・細胞周期と染色体の関係を考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・DNAの特徴に関心をもち考えようとする。
	7	【第2部 遺伝子とその働き】 第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝情報とDNA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・転写と翻訳の過程を理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・塩基配列が、アミノ酸配列に翻訳されると考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・遺伝情報をゲノムとしてとらえることに関心をもつ。
	9	第2節 遺伝情報とタンパク質の合成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・転写と翻訳の過程を理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・塩基配列が、アミノ酸配列に翻訳されると考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・遺伝情報をゲノムとしてとらえることに関心をもつ。
	10																【知識・技能】 ・体液の成分や働き、循環系を理解する。 【思考・判断・表現】 ・動物の恒常性が自律神経により調節されていると考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・多様なホルモンが特定の内分沁腺から分泌されていることに関心をもつ。
二 学 期	11	【第3部 ヒトの体の調節】 第3章 神経系と内分泌系による調節 第1節 情報の伝達 第2節 体内環境の維持の仕組み	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・体液の成分や働き、循環系を理解する。 【思考・判断・表現】 ・動物の恒常性が自律神経により調節されていると考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・多様なホルモンが特定の内分沁腺から分泌されていることに関心をもつ。
	12	第4章 免疫 第1節 免疫の働き	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・生体防御には異物に対する防御と自然免疫、獲得免疫があることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・体液性免疫と細胞性免疫を説明できる。 【主体的に取り組む態度】 ・免疫のしくみに関心をもつ。
	1	【第4部 生物の多様性と生態系】 第5章 植生と遷移 第1節 植生と遷移	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・気温と降水量のデータから各地のバイオームを予想できる。 【思考・判断・表現】 ・バイオームが成立する際の環境要因について考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・世界のバイオームの特色に関心をもつ。
三 学 期	2	第6章 生態系とその保全 第1節 生態系と生物の多様性	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・生態系を食物連鎖の関係で把握することができる。 【思考・判断・表現】 ・生態系の成り立ちと構成要素について具体的な生物をあげて考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・生態系をどのように把握できるか関心をもっている。
	3	第2節 生態系のバランスと保全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・生物多様性を保全することの重要性がわかる。 【思考・判断・表現】 ・生態系の保全が重要であると考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・環境問題などについて関心をもっている。

		評価の観点内容													評価方法	
知識・技能		生物用語とその内容を理解できるか。観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けているか。														
思考・判断・表現		自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現しているか。														
主体的に学習に取り組む態度		自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的态度を身に付けようとしたか。														

使用教科書	高等学校 地学基礎（啓林館）	副教材等	センサー地学基礎 3rd Edition（啓林館） ニュースステージ新地学図表（浜島書店）
学習の到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地殻を取り巻く環境への関心を高め、課題を解決するための科学的な見方や考え方を養う。		

学 期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容等					
			力挨拶・礼儀 （基礎人間）	観察思考 （学習の実践力の ～材料知識や根 基）	力コミュニケーション能	情報収集力	る想像力・未来を予測する力	課題を見出す力	る客観的メタ認知	論理的思考力	情報分析力（クレーティブ・批判的シス	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	ア末来設計力	主体的な行動力	～協働力～ムワーク
一 学 期	4	第1部 固体地球とその活動 第1章 地球 ・ 地球の概観 ・ 地球の内部構造															【知】 ○実際に見えない地球の内部をイメージして構造を理解する。 ○地震の発生原因や分布、それに伴う二次災害について学ぶ。グループで対策を講じる。 ○日本や鹿児島と密接な関係にある火山について、その種類や活動、火成岩の種類と組成について学習する。 【思】 ○地震災害の対策についてグループで対策を講じる。 ○火山がもたらす恩恵と災害についてグループでまとめる。 【主】 ○固体地球に関する身の回りの災害について、レポートを作成し、予測や減災について意見交換する。
	5	第2章 活動する地球 ・ プレートテクトニクスと地殻の活動 ・ 地震 ・ 火山活動と火成岩の形成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	6																
	7																
二年（ 思考力 養成期）	9	第2部 大気と海洋 第1章 大気の構造 ・ 大気圏 ・ 水と気象	○	○	○				○			○	○	○	○	○	【知】 ○大気、地球上の水について学ぶ。 【思】 ○地球熱収支と平衡についてグループでまとめる。 【主】 ○関連する自然法則等を活用できるようになる。
	10	第2部 大気と海洋 第2章 太陽放射と大気・海水の運動 ・ 地球のエネルギー収支 ・ 大気の大循環 ・ 海水の循環	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	【知】 ○地球の熱収支は、どのように保たれているかについて学習する。 【思】 ○理論立てて、大気や海水の循環を説明する。 【主】 ○相互授業を行い知識の定着を確認する。
	11																
	12	第2部 大気と海洋 第3章 日本の天気 ・ 日本の位置 ・ 冬から春、夏から秋の天気	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知】 ○日本の季節の移り変わりを学習する。 【思】 ○理論立てて、季節の移り変わりを説明する。 【主】 ○相互授業を行い知識の定着を確認する。
二年（ 実践力 養成期）	1	第3部 移り変わる地球 第1章 地球の誕生 ・ 宇宙の誕生 ・ 太陽系の誕生	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知】 ○宇宙の誕生とその進化、銀河について学ぶ。 ○太陽系の誕生について理解し、太陽の表面の現象と太陽のエネルギー源及び太陽系の天体について学ぶ。 【思】 ○太陽系について、その進化や起源、そしてその後について太陽を中心として理論的にまとめる。 【主】 ○天文現象について調べ、地上の物理法則との共通点について認識を深める。
	2																
	3																

			評価の観点内容								評価方法		
知識・技能			学習した基本的な概念や、原理・方法が正しく理解でき、自然現象についての知識を身に付けたか。推論、実験、検証の過程で科学的な考え方・方法を用いたか。								<ul style="list-style-type: none"> 授業、実験中の姿勢 実験レポート 定期考査 提出課題、小テスト 		
思考・判断・表現			観察、実験結果を正しく判断し、図、グラフ、数式で表現することができるか。地学を学ぶ意義と必要性を理解し、自身の日常生活と関連づけながら考えることができたか。グループ活動や相互授業において、相手がわかりやすい表現で伝えることができたか。										
主体的に学習に取り組む態度			身の回りの現象について関心をもち、意欲的に課題を追求する姿勢が見られたか。グループ活動や相互授業において、積極的に協働する姿勢を修得できたか。与えられた提出物等を期限を遵守し、自分にとって、より良い状態に仕上げられているか。										

使用教科書	物理基礎(教研出版) 物理(教研出版)	副教材等	物理基礎研究ノート(博洋社) リードLightノート物理(教研出版)
学習の到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。		

学期	月	学習項目	基礎力									思考力				実践力				活動内容・評価基準
			力操作 ・思考 ・礼儀 ・基礎人間 ・学実践 への知識 ・根拠	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力 ・未来 を予測する 能力	課題を見 出す力	力客観 ・タクシ ーに物事 を見つめ る能力	論理的 的思考 能力	情報分析 ・アリテ イク ・批判的 の思 考能 力	創造 する力	情報 発信 力	課題 を解決 する力	設計 ・未 来 方 案 力	主体的 な行 動力	協働 ・手 力 ムワ ーク				
一学期	4 5	物理基礎 【運動とエネルギー】 ・運動の表し方 ・運動の法則	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○									○	○ ○						【知識・技能】 ・等加速度直線運動を表す3つの式がどのようにして得られたかを理解し、その式やグラフを正しく運用することができる 【思考・判断・表現】 ・運動方程式を用いて、物体の運動を説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている	
	6 7	・仕事と力学的エネルギー 【熱】 ・熱とエネルギー 【波】 ・波の性質	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○									○	○ ○						【知識・技能】 ・温度、熱運動、熱量、比熱、熱容量などが正しく理解されている ・波の発生原理や基本事項を理解している 【思考・判断・表現】 ・熱量の保存について理解し、熱量保存の式を立てることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている	
二学期	9 10	・音 【電気】 ・物質と電気 ・磁場と交流	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○									○	○ ○						【知識・技能】 ・気柱の共鳴、弦の振動を理解している ・物体の帶電するしくみについて理解している ・オームの法則、抵抗の接続、抵抗率の基礎について理解している 【思考・判断・表現】 ・倍音について説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている	
	11	物理 【力と運動】 ・剛体 ・運動量の保存	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○									○	○ ○						【知識・技能】 ・平面内を運動する物体の運動について理解している ・力のモーメントについて理解している 【思考・判断・表現】 ・直線運動、平面運動における運動量保存則を式で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている	
二年（思考力養成期）	12	・円運動と万有引力	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○									○	○ ○						【知識・技能】 ・等速円運動をしている物体の回転の速度、角速度、周期、回転数の諸量の定義が理解できている ・万有引力の式を理解している 【思考・判断・表現】 ・等速円運動するのに必要な向心力を理解し、運動方程式を立てられる ・ばね振り子と单振り子の周期を表す式を導く過程を理解し、周期を求めることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている	
	1	【熱と気体】 ・気体のエネルギーと 状態変化	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○									○	○ ○						【知識・技能】 ・ボイル・シャルルの法則を用いて、状態変化後の気体の圧力、体積、絶対温度を求めることができる 【思考・判断・表現】 ・気体分子の平均運動エネルギーが絶対温度と関係あることを理解している ・單原子分子理想気体の内部エネルギーについて理解できている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている	
三学期	2	【波】 ・波の伝わり方	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○									○	○ ○						【知識・技能】 ・位相のずれや進行方向の違いなども考慮して、正弦波の式を正しく表すことができる 【思考・判断・表現】 ・2つの波源から出た波が、強めあう条件と弱めあう条件を説明することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている	
	3	・音の伝わり方	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○									○	○ ○						【知識・技能】 ・音の干涉について、音が強めあう条件と弱めあう条件を理解している 【思考・判断・表現】 ・ドップラー効果の式を用いて、観測者が聞く音の振動数を求めることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている	
			評価の観点内容												評価方法					
			知識・技能 •物理現象について知識の習得や概念的な理解ができるか。 •観察、実験結果を正しく判断し、図、グラフ、数式で表現することができるか。												授業、実験中の姿勢 •実験レポート •定期検査 •課題提出、小テスト					
			思考・判断・表現 •課題を遂行するにあたって、科学的・論理的に思考し、判断しているか。 •推論、実験、検証の過程で科学的な考え方・方法を用いたか。 •学習した物理の基本的な概念や、原理・方法が活用できただか。																	
			主体的に学習に取り組む態度 •意欲的に課題を追求する態度を身に付けていますか。 •授業、実験、課題等に積極的に取り組んでいますか。 •身の回りの物理現象について、関心をもっていますか。																	

使用教科書	化学基礎／化学	副教材等	セミナー化学基礎+化学（第一学習社）
学習の到達目標		自然の事物・現象に関する事を題材にして、基本的な概念、原理、法則を理解すること。実験や観察を通して、科学的な自然観を身に付けること。物質をよく知ることにより、現代社会をより広い視野で捉え、的確な判断ができるようになること。	

学 期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準		
			接続・礼儀 (基礎人間力)	る思 考 力・実 知 識 (料 や 根 據 と な る 能 力)	コ ミ ニ ケ シ ョ ン 能 力	情 報 収 集 力	想 像 力・ 未 來 を 予 測 す る 力	課 題 を 免 見 す る 力	～客 観 的 認 識 ～物 事 を 見 つ め る 力	論 理 的 の 思 考 力	グ ー (へ ク リ ア イ カ ル 批 判 的 思 考 力)	創 造 す る 力	情 報 發 信 力	課 題 を 解 決 す る 力	力 未 來 を 切 り 拓 く ～ キ ャ リ ア 設 計 ～	主 体 的 な 行 動 力	～ チ ー ム ワ ー ク ～
一 学 期	4	【化学基礎】 1-1 物質の構成と化学結合 1.純物質と混合物 2.物質とその成分 3.物質の三態と熱運動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】・純物質と混合物の違いについて理解する。状態変化の考え方を理解する。 【思・辨・表】・純物質と混合物の違いを説明できる。・成分元素を求めることができる。 【主体的態度】・元素に特有の性質に興味をもつ。・身の回りの混合物について興味をもつ。
	5	1-2 物質の構成粒子 1.原子とその構造 2.イオン 3.周期表	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】・原子とその構造について理解する。イオンの生成を理解する。 【思・辨・表】・原子の構造と原子の性質を説明できる。・性質の特徴から元素名を求めることができる。 【主体的態度】・原子の周期律と周期表の関係に興味をもつ。・電子配置と価電子の関係性について興味をもつ。
	6	1-3 粒子の結合 1.イオン結合とイオンからなる物質 2.分子と共有結合 3.分子の極性と分子間にはたらく力 4.共有結合の物質 5.金属結合と金属	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】・化学結合の種類とその違いについて、具体例を挙げて理解する。 【思・辨・表】・化学結合の種類とその違いを説明できる。・様々な特徴から化学結合の種類を求めることができる。 【主体的態度】・化学結合の仕方に興味をもつ。
二 学 期	7	2-1 物質量と化学反応式 1.原子量・分子量・式量 2.物質量／3.化学反応式と物質量 2-2 酸と塩基の反応 1.酸・塩基／2.水の電離と水溶液のpH 3.中和反応／4.塩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】・原子量・分子量・式量について理解する。中和反応と塩について、具体例を挙げて理解する。 【思・辨・表】・物質量の計算ができる。化学反応式を作成できる。 【主体的態度】・身近な化学反応式に興味をもつ。
	9	2-3 酸化還元反応 1.酸化と還元 2.酸化剤と還元剤 3.金属の酸化還元反応 4.酸化還元反応の利用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】・酸化と還元、酸化剤と還元剤について、具体例を挙げて理解する。 【思・辨・表】・酸化還元反応の利用を説明できる。 【主体的態度】・身近な酸化還元反応、中和反応に興味をもつ。
	10	【化学】 11 1-1 固体の構造 12 1-2 物質の状態変化 1-3 気体 1-4 液体	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】・單位格子や配位数の意味について、具体例を挙げて理解する。気液平衡の考え方を理解する。 【思・辨・表】・結晶質と非結晶質の構造の違いを説明できる。・状態方程式から気体の分子量や密度を求めることができる。 【主体的態度】・金属の結晶格子における原子の配列の仕方に興味をもつ。・気体の体積や圧力、絶対温度の関係性について興味をもつ。
三 学 期	1	2-1 化学反応とエネルギー 2-2 電池と電気分解	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】・化学反応に伴う放出または吸収する热量をエンタルピー変化を用いて、具体例を挙げて理解する。 【思・辨・表】・蓄電池や燃料電池の構造に基づき、それぞれの電池で起こる現象が判断できる。 【主体的態度】・電気分解およびその工業的な利用について興味をもつ。
	2	2-3 化学反応の速さとしくみ 2-4 化学平衡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】・化学変化における反応速度を定義を理解する。・実験結果から反応速度を求める方法を、具体例を挙げて理解する。 【思・辨・表】・反応速度式を用いて実験結果の処理などを行い、反応速度や速度定数を求めることができる。 【主体的態度】・平衡定数を用い、化学平衡における量的関係を求めることができる。
	3	3-1 非金属元素 3-2 金属元素(I) 典型元素	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】・元素の分類(典型元素・遷移元素、金属元素・非金属元素)について、具体例を挙げて理解する。 【思・辨・表】・周期表に基づいて、元素の分類や周期性を説明できる。 【主体的態度】・元素の分類や周期表に興味をもつ。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	・化学現象について知識の習得や概念的な理解ができたか。 ・観察、実験結果を正しく判断し、図、グラフ、数式で表現することができるか。	
思考・判断・表現	・課題を遂行するにあたって、科学的・論理的に思考し、判断しているか。 ・推論、実験、検証の過程で科学的な考え方・方法を用いたか。 ・学習した物理の基本的な概念や、原理・方法が活用できたか。	・授業、実験中の姿勢 ・実験レポート ・定期考查 ・課題提出、小テスト
主体的に学習に取り組む態度	・意欲的に課題を追究する態度を身に付けているか。 ・授業、実験、課題等に積極的に取り組んでいるか。 ・身の回りの化学現象について、関心をもっているか。	

使用教科書	高等学校生物基礎(啓林館) 高等学校生物(啓林館)	副教材等	センサー総合生物(啓林館) ニューステージ生物図表(浜島書店)
学習の到達目標	現代生物学の基礎となる代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系といった基礎的な内容を、最先端の生物学を織り交ぜながら学習し、生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。		

学期	月	単元名	基礎力												思考力				実践力				活動内容・評価規準
			挨拶・礼儀 (基礎人間力)	なる思 考・実 践的 の知 識・材 料や 根拠と しての 能力	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 能 能	情 報 収 集 力	想 像 力・未 來を予 測する 力	課 題 を発 見する 力	客 観的 に物 事を見 つめる 力	論 理 的 の思 考 力	(ゾ) 情 報 分 析 力 ・ ク リ テ イ チ カ ル 批 判 的 の思 考 力	創 造 す る 力	情 報 發 信 力	課 題 を解 決する 力	計 画 力 ・ 未 來 を 切 り 拓 く キ ャ リ ア 設 定 力	主 体 的 な行 動 力	チ ー ム ワ ー ク						
一年 (思考力養成期)	4	【生物基礎】 【第1部 生物の特徴】 第1章 生物の特徴 第1節 生物の共通性と多様性 第2節 生物とエネルギー		○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・多様な生物の共通点がわかる。 【思考・判断・表現】 ・代謝におけるエネルギーを考えることができ る。 【主体的に取り組む態度】 ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について調べようとする。		
	5	【第2部 遺伝子とその働き】 第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝情報とDNA		○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・DNAの二重らせん構造と塩基について理解でき る。 【思考・判断・表現】 ・細胞周期と染色体の関係を考えることができ る。 【主体的に取り組む態度】 ・DNAの特徴に关心をもち考えようとする。		
	6																				【知識・技能】 ・転写と翻訳の過程を理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・塩基配列が、アミノ酸配列に翻訳されると考え ることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・遺伝情報をゲノムとしてとらえることに関心をもつ。		
	7	第2節 遺伝情報とタンパク質の合成		○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・転写と翻訳の過程を理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・塩基配列が、アミノ酸配列に翻訳されると考え ることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・遺伝情報をゲノムとしてとらえることに関心をもつ。		
	9	【第3部 ヒトの体の調節】 第3章 神経系と内分泌系による調 節	○	○		○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・体液の成分や働き、循環系を理解する。 【思考・判断・表現】 ・動物の恒常性が自律神経により調節されている と考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・多様なホルモンが特定の内分泌腺から分泌され ていることに关心をもつ。		
	10	第2節 体内環境の維持の仕組み																			【知識・技能】 ・生体防衛には異物に対する防御と自然免疫、獲得免疫があることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・体液性免疫と細胞性免疫を説明できる。 【主体的に取り組む態度】 ・世界のバイオームの特色に关心をもつ。		
	11	第4章 免疫 第1節 免疫の働き 【第4部 生物の多様性と生態系】 第5章 植生と遷移 第1節 植生と遷移	○	○		○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・生態系を食物連鎖の関係で把握することができ る。 【思考・判断・表現】 ・生態系の成り立ちと構成要素について具体的な 生物をあげて考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・生態系をどのように把握できるか关心をもって いる。		
	12	第6章 生態系とその保全 第1節 生態系と生物の多様性 第2節 生態系のバランスと保全	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・生命の起源と生命の変遷がわかる。 【思考・判断・表現】 ・生物の進化に関係している地球環境の変化を考 えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・生物進化がどのように起こってきたのかを調べようとする。		
	1	【生物】 【第1部 生物の進化】 第1章 生物の進化 第1節 生命の起源 第2節 生物界の変遷と地球環境の 変化	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・減数分裂の意義と受精の意義がわかる。 【思考・判断・表現】 ・多様な遺伝子的な組み合わせについて考えるこ とができる。 【主体的に取り組む態度】 ・遺伝的に多様な組み合わせをもつ子が生じるこ とを理解する。		
	2	第2章 有性生殖と遺伝の多様性 第1節 有性生殖		○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・遺伝する形質のもとになる要素の遺伝子と染色 体がわかる。 【思考・判断・表現】 ・遺伝の法則について考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・遺伝子の連鎖と組換えについて調べようとする。		
	3	第2節 遺伝子の多様な組み合わせ	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・生物用語とその内容を理解できるか。観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探 究する技能を身に付けているか。		
			評価の観点内容												評価方法								
知識・技能			生物用語とその内容を理解できるか。観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探 究する技能を身に付けているか。												授業への取組 ・実験レポート ・授業中の小テスト ・提出課題 ・定期考査								
	思考・判断・表現		自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考 察し、導き出した考えを的確に表現しているか。																				
	主体的に学習に取り組む態度		自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとすると ともに、科学的态度を身に付けようとしたか。																				

使用教科書	高等学校生物基礎（啓林館）	副教材等	Navi & トレーニング生物基礎（啓林館） ニューステージ生物図表（浜島書店）
学習の到達目標	現代生物学の基礎となる代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系といった基礎的な内容を、最先端の生物学を織り交ぜながら学習し、生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。		

評価の観点内容		評価方法
知識・技能	生物用語とその内容を理解できるか。観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けているか。	
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現しているか。	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取組 実験レポート 授業中の小テスト 提出課題 定期考査
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に关心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的态度を身に付けようとしたか。	

使用教科書	高等学校 地学基礎 (啓林館)	副教材等	センサー地学基礎 3rd Edition (啓林館) 進研共通テスト対策【実力完成】直前演習 地学基礎 (Learn-s)
学習の到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地殻を取り巻く環境への関心を高め、課題を解決するための科学的な見方や考え方を養う。		

学 期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容等					
			力挨拶・礼儀 (基礎人間)	従思考となる実践力の (材料や根拠)	力コミュニケーション能	情報収集力	る想像力・未来を予測す	課題を発見する力	る客観的・論理的思考力	情報分析力	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	ア未来发展計を切り拓く力	主体的な行動力	へ協働力「ムーアワーク」	
一学期	4	第3部 移り変わる地球 第2章 地球と生命の進化 ・先カンブリア時代 ・頭生代														【知技】 ○どのように生物が発展してきたのか、環境の変遷と関連づけて考える。 ○地殻を構成する物質である岩石の分類と成因について学習し、岩石の肉眼鑑定を行う。 ○地球が誕生してから現在まで、どのように移り変わってきたのかについて学習する。 【思判表】 ○地層を見て、その成り立ちを考察する。 ○映像や資料集から地球史について情報収集し、まとめて発表する。 【主】 ○テーマに基づいた地史の編成作業をとおして、根底に存在する原理・原則を理解する。	
	5	第3章 地球史の読み方 ・地層からわかること ・地層の形成 ・地層の読み方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
三年（実践力養成期）	6	第4部 自然との共生 ・地球環境と人類 ・灾害と社会 ・人間生活と地球環境の変化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】 ○地殻環境を維持するにはどのようにすればよいかについて学習する。 【思判表】 ○私たちは自然環境からどのような影響を受けているのかについて話し合い、まとめる。 【主】 ○これまで学んだ内容を有機的に理解し、課題意識を深める。
	7		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
二学期	9	課題研究① (大学入学共通テストに向けた問題演習)														【知技】 ○教科書、問題集、大学入試問題から重要事項について復習する。 【思判表】 ○計算問題、資料活用問題、文章表現問題に取り組み、得点力を身に付ける。 【主】 ○大学入学共通テストに向けて、自分の課題を分析し、解決する。	
	10		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
三学期	11															【知技】 ○教科書、問題集、大学入試問題から重要事項について復習する。 【思判表】 ○計算問題、資料活用問題、文章表現問題に取り組み、得点力を身に付ける。 【主】 ○大学入学共通テストに向けて、自分の課題を分析し、解決する。	
	12																
三学期	1	課題研究② (大学入学共通テストに向けた問題演習)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】 ○教科書、問題集、大学入試問題から重要事項について復習する。 【思判表】 ○計算問題、資料活用問題、文章表現問題に取り組み、得点力を身に付ける。 【主】 ○大学入学共通テストに向けて、自分の課題を分析し、解決する。
	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

		評価の観点内容	評価方法
知識・技能		学習した基本的な概念や、原理・方法が正しく理解でき、自然現象についての知識を身に付けたか。推論、実験、検証の過程で科学的な考え方・方法を用いたか。観察、実験結果を正しく判断し、図、グラフ、式で表現することができるか。	・授業、実験中での姿勢 ・実験レポート ・定期考査 ・提出課題、小テスト
思考・判断・表現		地学を学ぶ意義と必要性を理解し、自身の日常生活と関連づけながら考えることができたか。グループ活動や相互授業において、相手がわかりやすい表現で伝えることができたか。	
主体的に学習に取り組む態度		身の回りの現象について関心をもち、意欲的に課題を追究する姿勢が見られたか。グループ活動や相互授業において、積極的に協働する姿勢を獲得できたか。与えられた提出物等を期限を遵守し、自分にとって、より良い状態に仕上げられているか。	

使用教科書	物理(教研出版)	副教材等	リードLightノート物理(教研出版) ニューグローバル物理基礎+物理(東京書籍)
学習の到達目標	物理的な事物・現象についての観察、実験などを行ない、自然に対する关心や探究心を高め、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。		

学期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価基準				
			力挨拶・礼儀(基礎人間)	と思ふる・学ぶ実践への知識(基礎知識)	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する力	課題を見つめる力	力客観的・論理的思考力	力精細分析力	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設計力	主体的な行動力	～チ～ムワーク
一学期	4 5	【光】 ・光の性質 ・レンズと鏡 ・光の干渉と回折	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・光は進んでいくとき、反射、屈折、分散、散乱を行うこと、またその際にどのような法則が成り立っているかを理解している 【思考・判断・表現】 ・写像公式を理解し、像のできる位置や像の大きさなどを求めることができる ・ヤングの実験、回折格子、薄膜などの光の干渉条件を理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている
	6 7	【電気と磁気】 ・静電気力 ・電場 電位 ・物質と電場 コンデンサー ・オームの法則 ・直流回路 ・半導体	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・電気量保存の法則やクーロンの法則について理解し、関係式を正しく適用できる ・電場を理解し、電荷が電場から受ける力や電場の強さの式を正しく適用できる 【思考・判断・表現】 ・「起電力」と「電圧降下」の意味を理解しており、キルヒhoffの法則を正しく適用することができます 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている
二学期	9 10	・磁場・電流のつくる磁場 ・電流が磁場から受ける力 ・ローレンツ力 ・電磁誘導の法則 ・自己誘導と相互誘導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・直線電流、円形電流、ソレノイドの電流がつくる磁場について理解している ・フレミングの左手の法則について理解している 【思考・判断・表現】 ・さまざまな電磁誘導の事例について理解し、関係式も適用できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている
	11	・交流の発生 ・交流回路 ・電磁波 【原子】 ・電子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・交流電流、交流電圧の式を理解している。また、これらには位相差が生じていることを理解している ・マイクロコンデンサーのワクターンについて理解し、交流回路のインペダンスについても理解している 【思考・判断・表現】 ・電磁波はその波長により、ふるまいが大きく異なり、波長により分類できることを理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている
三年（実践力養成期）	12	・光の粒子性 ・X線 ・粒子の波動性 ・原子と原子核	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・光子エネルギーの式を適用できる ・光電効果について理解している ・ボーラー理論(量子条件・振動条件)について理解している 【思考・判断・表現】 ・結合エネルギーの定義を理解し、核反応によって放出されるエネルギーを求めることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている
	1	大学入学共通テスト に向けた問題演習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【思考・判断・表現】 ・過去の入試問題を解けるようになる ・徐々に難易度を上げる
三学期	2	二次試験 に向けた問題演習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【思考・判断・表現】 ・過去の入試問題を解けるようになる ・徐々に難易度を上げる
	3															

		評価の観点内容	評価方法
知識・技能	・物理現象について知識の習得や概念的な理解ができたか。 ・観察、実験結果を正しく判断し、図、グラフ、数式で表現することができるか。		
思考・判断・表現	・課題を遂行するにあたって、科学的・論理的に思考し、判断しているか。 ・推論、実験、検証の過程で科学的な考え方・方法を用いたか。 ・学習した物理の基本的な概念や、原理・方法が活用できただか。	・授業、実験中の姿勢 ・実験レポート ・定期考査 ・課題提出、小テスト	
主体的に学習に取り組む態度	・意欲的に課題を追求する態度を身に付けているか。 ・授業、実験、課題等に積極的に取り組んでいるか。 ・身の回りの物理現象について、関心をもっているか。		

使用教科書	化学	副教材等	セミナー化学基礎+化学（第一学習社）
学習の到達目標	自然の事物・現象に関する事を題材にして、基本的な概念、原理、法則を理解すること。実験や観察を通して、科学的な自然観を身に付けること。物質をよく知ることにより、現代社会をより広い視野で捉え、的確な判断ができるようになること。		

学 期	月	单元名	基礎力					思考力			実践力				活動内容・評価規準			
			挨拶・礼儀 （基礎人間力）	なる学 力実践の 知識の 材料や根 據と	思考 ニケイ ション能 力	コ ミュニ ケイ シヨ ン能 力	情報 収集 力	想像 力、未 来を予 測する 力	課 題を發 見する 力	客 觀的 に物 事を見 つめる 力	論 理的 思考 力	ク リ テ シ ン キ ン グ ）	情 報 分析 力（批 判的 思考 力）	創 造 する 力	課 題を解 決する 力	計 未 來 力を切 り拓く キャ リア 設	主 体 的 な行 動 力	協 働 力 ム ワ ー ク ）
一 学 期	4 5	2-3 化学反応の速さとしく 2-4 化学平衡	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】・化学における反応速度の定義を理解する。 【思・判・表】・反応速度に関わる条件に基づき、条件を変えることで反応速度がどのように変化するのかを判断することができる。・平衡定数を用い、化学平衡における量の関係を求めることができる。 【主体的態度】・反応速度に関わる反応条件について興味をもつ。
	6	3-1 非金属元素 3-2 金属元素（I）	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】・元素の分類（典型元素・遷移元素・金属性元素）について理解する。 【思・判・表】・周期表に基づいて、元素の分類や周期性を説明できる。 【主体的態度】・元素の分類や周期表に興味をもつ。・アルカリ金属の単体や化合物に興味をもつ。
	7	3-3 金属元素（II）	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】・遷移元素の特徴について理解する。・錯イオンの名称や化学式、書き方、配位数、形について理解する。 【思・判・表】・水溶液の色から、そこに含まれる遷移元素を判断できる。・錯イオンの名称から化学式を、化学式から名称を答えることができる。 【主体的態度】・遷移元素の特徴について興味をもつ。
三年 （思考力養成期）	9	4-1 有機化合物の分類 4-2 脂肪族炭化水素	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】・有機化合物の特徴について理解する。・有機化合物の分類について、炭素骨格での分類や官能基による分類を理解する。 【思・判・表】・アルコールやベンゼンの置換反応や付加反応、酸化反応を構造式を用いた化学反応式で示すことができる。 【主体的態度】・ベンゼンや芳香族炭化水素の特徴や構造、反応性について興味をもつ。
	10	4-3 アルコールと関連化合物 4-4 芳香族化合物	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】・アルコールやベンゼンの一般式や構造式、名称、分類について理解する。・ベンゼン環の構造とその特徴について理解する。 【思・判・表】・アルコールやベンゼンの置換反応や付加反応、酸化反応を構造式を用いた化学反応式で示すことができる。 【主体的態度】・ベンゼンや芳香族炭化水素の特徴や構造、反応性について興味をもつ。
	11 12	5-1 高分子化合物 5-2 天然高分子化合物 5-3 合成高分子化合物	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】・高分子化合物の定義や分類、構造について理解する。・単糖、二糖、多糖に分類されるそれぞれの糖類の化学式と構造、名称、反応性について理解する。 【思・判・表】・高分子化合物の重合の方法や分子量、特徴について判断することができる。・化学式や名称、構造、性質に基づいて糖類を分類することができます。 【主体的態度】・高分子化合物の性質や構造について興味をもつ。・アミノ酸やタンパク質の特徴やその構造、反応性について興味をもつ。
三 学 期	1	演習問題	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【思・判・表】・過去の入試問題を解けるようになる。 徐々に難易度を上げていく。 【主体的態度】・習熟度別にグループを作り、協力して問題に取り組む。
	2	演習問題	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【思・判・表】・過去の入試問題を解けるようになる。 徐々に難易度を上げていく。 【主体的態度】・習熟度別にグループを作り、協力して問題に取り組む。
	3																	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	・化学現象について知識の習得や概念的な理解ができたか。 ・観察、実験結果を正しく判断し、図、グラフ、数式で表現することができるか。	
思考・判断・表現	・課題を遂行するにあたって、科学的・論理的に思考し、判断しているか。 ・推論、実験、検証の過程で科学的な考え方・方法を用いたか。 ・学習した物理の基本的な概念や、原理・方法が活用できたか。	・授業、実験中の姿勢 ・実験レポート ・定期考査 ・課題提出、小テスト
主体的に学習に取り組む態度	・意欲的に課題を追究する態度を身に付けているか。 ・授業、実験、課題等に積極的に取り組んでいるか。 ・身の回りの化学現象について、関心をもっているか。	

使用教科書	高等学校生物(啓林館)	副教材等	センサー総合生物(啓林館) ニューステージ生物図表(浜島書店)
学習の到達目標	現代生物学の基礎となる代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系といった基礎的な内容を、最先端の生物学を織り交ぜながら学習し、生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。		

学 期	月	单元名	基礎力												思考力				実践力				活動内容・評価規準
			接 触 ・ 社 会 ・ 人 間 ・ 人 類 ・ 個 人 開 き	な る 考 え ・ 実 践 ・ 知 識 ・ 科 技 ・ 情 報 ・ 相 互 ・ 信 息 ・ 交 換 ・ 能 力	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 能 力	情 報 収 集 力	想 像 力 ・ 未 來 予 測 す る 力	説 明 ・ 發 見 す る 力	「客 觀 的 ・ 論 理 的 の 思 考 力」 ・ 「物 事 と 見 つ め る 力	創 造 ・ 解 決 力 ・ 「 ク リ エ イ チ ン ・ 解 決 の 能 力	情 報 ・ 資 料 ・ 信 息 ・ 解 析 ・ 「 ク リ エ イ チ ン ・ 解 決 の 能 力	計 算 ・ 未 來 予 測 す る 力	主 体 的 ・ 自 由 ・ 創 造 ・ 行 動 ・ 「 チ ム ワ ー ク ・ ソ リ ュ ム ワ ー ク	思考力				実践力					
一学期	4	【生物】 【第1部 生物の進化】 第3章 進化のしくみ 第1節 突然変異と進化 第2節 進化の要因	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・塩基配列の突然変異と進化について学ぶ。 ・染色体の突然変異と遺伝子重複について学ぶ。 【思考・判断・表現】 ・遺伝の浮動や中立説について考える。 ・分子進化と分子時計について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自然選択のしくみについて探究する。 ・集団の遺伝的構成の変化について推論する。		
	5	第4章 生物の系統 第1節 生物の分類と系統 第2節 3ドメイン説 第3節 細菌門 第4節 アーキアドメイン 第5節 真核生物ドメイン 第6節 人類の起源と進化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・分子系統について理解を深める。 ・各種ドメインについて学ぶ。 【思考・判断・表現】 ・人類の起源と進化について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生物の分類や系統について調べる。			
	6	【第2部 生命現象と物質】 第5章 生命と物質 第1節 物質と細胞 第2節 生命現象とタンパク質 第6章 代謝 第1節 代謝とエネルギー 第2節 呼吸 第3節 光合成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・生物を構成する物質と、細胞について学ぶ。 ・物質輸送や情報伝達に関するタンパク質について学ぶ。 ・光合成色素や光合成のしくみについて学ぶ。 【思考・判断・表現】 ・酵素の反応とその調節のしくみについて考える。 ・呼吸基質と呼吸商について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・タンパク質の構造や機能について調べる。 ・代謝とエネルギー・代謝について調べる。 ・呼吸や発酵のしくみについて調べる。 ・光合成の2つの過程について調べる。			
	7	【第3部 遺伝情報の発現と発生】 第7章 遺伝現象と物質 第1節 遺伝情報の複製 第2節 遺伝子の発現 第3節 遺伝子の発現調節 第8章 発生と遺伝子の発現 第1節 動物の配偶子形成と受精 第2節 初期発生の過程 第3節 発生と遺伝子の発現	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・遺伝子の発現の概要について学ぶ。 ・配偶子形成や受精のしくみについて学ぶ。 ・卵割と初期発生について学ぶ。 ・ウニやカエルの発生について学ぶ。 【思考・判断・表現】 ・複製起点について理解を深める。 ・転写・翻訳、クライオレンジングのしくみについて考える。 ・原核生物のタンパク質合成について考える。 ・遺伝子の発現調節と細胞分化のしくみについて考える。 ・ショウジョウワバヤカエルの遺伝子発現について理解を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの構造と複製のしくみについて調べる。 ・組織や器官の形成と誘導について調べる。			
	9	【第4部 生物の環境応答】 第9章 バイオテクノロジー 第1節 遺伝子を扱った技術 【第5部 生物の環境応答】 第10章 刺激の受容と応応 第1節 刺激の受容 第2節 神経 第3節 神経系 第4節 効果器 第11章 動物の行動 第1節 生物的行動 第2節 学習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・ニューロンの構造と静止電位、活動電位について学ぶ。 ・伝導、伝達と全か無かの法則について学ぶ。 ・神経系の成立やシナプスについて学ぶ。 【思考・判断・表現】 ・遺伝子導入の方法やゲノムの応用について考える。 ・脊髄と反射のしくみについて考える。 ・慣れ、条件づけ、試行錯誤と知能行動について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・視覚や聽覚などに対応する受容器について学ぶ。 ・かぎ刺激による行動について調べる。 ・定位や太陽コンパスについて学習する。			
	10	第12章 植物の環境応答 第1節 植物の生殖と発芽 第2節 発芽と成長 【第5部 生態と環境】 第13章 個体群と生物群集 第1節 個体群とその変動 第2節 種内関係 第3節 種間関係	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・植物の器官形成と環境応答について学ぶ。 ・光受容体と植物ホルモンについて学ぶ。 ・種間競争と生物的地位について学習する。 【思考・判断・表現】 ・花器官の形成と遺伝子制御について考える。 ・重複受精のしくみについて理解を深める。 ・発芽や成長、帰化の傾向のしくみについて学ぶ。 ・果実の成長と気候の開闊について学ぶ。 ・個体群とその構造について学習する。 ・群れとその効果について学習する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・植物と環境の関わりについて理解を深める。 ・繩張りや動物の社会について学ぶ。 ・生物群集や捕食者、被食者の関係について調べる。			
	11	第14章 生態系 第1節 生態系と物質生産 第2節 生態系と人間生活	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・絶滅や生物多様性に関わる人間生活について学習する。 【思考・判断・表現】 ・生態系と人間との流れについて考える。 ・生態系と生物多様性について理解を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・窒素代謝や物質循環、物質收支について調べる。			
	12	総合演習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・生物の全範囲を総合的に復習する。			
三年(思考力養成期)	1	第14章 生態系 第1節 生態系と物質生産 第2節 生態系と人間生活	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・授業への取組 ・実験レポート ・授業中の小テスト ・提出課題 ・定期考査			
	2	総合演習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・評価の観点内容			
																				評価方法			

知識・技能	生物用語とその内容を理解できるか。観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けているか。	・授業への取組 ・実験レポート ・授業中の小テスト ・提出課題 ・定期考査
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現しているか。	
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に关心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的态度を身に付けようとしたか。	

使用教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	アクティブライト(大修館)
学習の到達目標	体育の見方・考え方を働きかせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。		

学年 (基礎力養成期)	学年 (実践力養成期)	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準					
				力探し ・社会的 ・知識人間 の基礎力 や根柢能 力	と思考 る・学実 力践 への知 識料 や根 柢能 力	コ ミ ュニ ケー シ ョ ン能 力	情報 収集 力	力想 像力 ・未 來 を予 測 す る 能 力	課 題 を 発 見 す る 能 力	力客 觀的 ・タ イ ム 的 に 認 物 見 つ め る 能 力	論理 的 思 考 力	力情 報 解 析 力	創造 す る 力	情 報 發 信 力	課 題 を 解 決 す る 力	設 計 未 來 力 を 切 り 拓 く 能 力	主 体 的 な 行 動 力	協 力 ・ム ー ワ ー ク
一年 (基礎力養成期)	一年 (実践力養成期)	4	体つくり運動	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・体ほくしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができる。 ・実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康的の保持増進や測定のとれた体力の向上を図るために運動の計画を立て取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体つくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとし、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。
		5																【知識・技能】 ・短距離走、リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受け渡し次走者のスピードを十分高めることができ、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。
		6	3領域選択Ⅰ ・陸上競技 ・武道 ・ダンス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	陸上競技 【知識・技能】 ・短距離走、リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受け渡し次走者のスピードを十分高めることができ、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとし、健康・安全を確保している。
		7																【知識・技能】 ・陸上競技 【思考・判断・表現】 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にし、自己の責任を果たそうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、自己の責任を果たそうとしている。
		9	陸上競技 ・短距離 ・リレー	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	陸上競技 【知識・技能】 ・短距離走、リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受け渡し次走者のスピードを十分高めることができ、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にし、自己の責任を果たそうとしている。
		10	体育理論 ・スポーツの発祥と発展 (3項目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていることを理解している。 ・現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていると理解している。 ・現代のスポーツは、経済的・政治的効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていることを理解している。 ・スポーツを行な際は、スポーツが環境や社会のもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められるこを理解している。
		11	陸上競技 ・長距離走	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていることを理解している。 ・現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていると理解している。 【思考・判断・表現】 ・スポーツを行な際は、スポーツが環境や社会のもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められるこを理解している。
二学期	三学期	9	体育理論 ・スポーツの発祥と発展 (3項目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていることを理解している。 ・現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていると理解している。 【思考・判断・表現】 ・スポーツを行な際は、スポーツが環境や社会のもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められるこを理解している。
		10	陸上競技 ・長距離走	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていることを理解している。 ・現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていると理解している。 【思考・判断・表現】 ・スポーツを行な際は、スポーツが環境や社会のもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められるこを理解している。
		11	球技・武道選択Ⅰ ・バドミントン ・サッカー ・武道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・球技では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前の侵入などから攻防をすることができる。 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
三学期	三学期	12																【知識・技能】 ・武道【主体的に学習に取り組む態度】 ・武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとし、健康・安全を確保している。
		1	球技・武道選択 ・バスケットボール ・ソフトボール ・武道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前の侵入などから攻防をすることができる。 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
		2																【知識・技能】 ・武道【主体的に学習に取り組む態度】 ・武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとし、健康・安全を確保している。
		3																【知識・技能】 ・武道【主体的に学習に取り組む態度】 ・武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとし、健康・安全を確保している。

		評価の観点内容											評価方法		
知識・技能		運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解しており、それらの技能を身に付けています。											・事実的な知識の習得を問う小テスト ・スキルテスト ・ゲーム結果分析		
思考・判断・表現		生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えています。											・グループノート ・小テスト ・ゲーム内容分析		
主体的に学習に取り組む態度		運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参考する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養っている。											・グループノートの記入状況 ・授業態度、グループにおける話し合い ・準備、片付けへの取り組み方		

使用教科書	現代高等保健体育（大修館）	副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館）
学習の到達目標	保健の見方・考え方を働きかせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。		

学 期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準	
			力挨拶 ・礼儀 （基礎人間 の知材料 や根柢 能力）	と思 なる・ 学実 力・ 知識 の基 礎と しての 能	コ ミ ニ ケ シ ョ ン	情 報 収 集 力	力想 像 ・ 課 題 を 発 見 す る 力	力客 観 的 に 物 認 知 事 を見 つ め る 力	論 理 的 の 思 考 力	シ カ 情 報 分 析 テ ク ニ ク イ ・ 批 判 的 の 思 考 キ キ 考 え	創 造 す る 力	情 報 發 信 力	課 題 を 解 決 す る 力	設 計 未 來 を 見 り 拓 く 力	主 体 的 な 行 動 力	協 働 力 （ム ワ ー ク）
一年（基礎力養成期）	一学期	現代社会と健康 1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	【知識・技能】 ・国民の健康課題について、各種の指標や疾病構造の変化を通して理解する。 【思考・判断・表現】 ・国民の健康課題について、健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータ等の資料に基づいて分析する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現状の国民の健康課題に基く、自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指している。	
		3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 がんの治療と回復 6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・がん、糖尿病、虚血性心疾患などの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・生活習慣病の予防と回復について、習得した知識を基に他の生活習慣病のリスクを分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的環境の整備等を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生活習慣病の予防と回復の内容を生かし、自他の明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っている。
		9 喫煙と健康 10 酒飲と健康 11 薬物乱用と健康	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることを理解する。 ・薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことを理解する。 【思考・判断・表現】 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国これまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・依存性についての知識を生かし、自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指している。
		12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情緒、行動などの不調により、精神活動が全く正常でない状態であることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・精神疾患の知識を生かし、自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指している。
	二学期	15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 感染症・エイズとその予防	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に大きな見られることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・感染症の危険性を理解し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っている。
		18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、及び人間関係などを含む社会環境が関与していることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・現代社会に健生きしきたり、自他・社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、述語を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・適切な意思決定や行動選択に必要な知識を生かし、自他の健康の保持増進を目指している。
一年（実践力養成期）	三学期	20 安全な社会生活 1 事故の現状と発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通における安全	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・交通事故を防止するには、自他の命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や場所の関係整備が必要であることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・安全な社会づくりについて、様々な事故や灾害の事例から、安全に関する知識を整理し、危機意識に応用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・安全な社会作りに必要な知識を生かし、自他の健康の保持増進を支える環境づくりを目指している。
		21 応急手当の意義とその基本 5 日常的な応急手当 6 心肺蘇生法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AEDの使用方法や手順について理解し、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。 【思考・判断・表現】 ・応急手当について、習得した知識や技能を事故等で生じる傷害や疾病に適用付けて、悪化防止のための適切な方法に応用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・応急手当の知識を生かし、自他の健康の保持増進を目指している。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	・事実的な知識の習得を問う小テスト ・単元テストの結果 ・実技講習の結果
思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養っている。	・保健ノートの記入内容 ・発表の内容 ・単元テストの内容
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養っている。	・保健ノートの記入状況 ・発表の状況 ・グループでの話し合いへの取り組み方

使用教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	アクティブスポーツ(大修館)
学習の到達目標	体育の見方・考え方を働きかせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。		

学 期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準					
			力挨拶 ・礼儀 (基礎人間)	と思 考・ 学 実 力 の 知 材 料 や 根 據 能 力	コ ミ ニ ケ ー シ ョ ン 能 力	情 報 収 集 力	力想 像 力 ・ 未 來 を 予 測 す る	課 題 を 発 見 す る 力	力客 觀 的 に 認 物 知 事 を 見 つ め る	論 理 的 思 考 力	力情 報 統 一 化 分 析 力	創造 す る 力	情 報 發 信 力	課 題 を 解 決 す る 力	設 計 未 來 力 を 切 り 替 え る 力	主 体 的 な 行 動 力	一 協 力 ・ カ ム ワ ー ク
二年(基礎力養成期)	4	体つくり運動	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・体ほくぐの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自分の関わることができる。 ・実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るために運動の計画を立て取り組んでいます。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体つくり運動に自動的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとし、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。
	5																【知識・技能】 ・ダンスの名称や用語を理解し、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表ができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ダンスに自動的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとしており、作戦などを大切にしている。
	6	3領域選択Ⅰ ・ダンス ・武道 ・バレーボール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバーンの受渡しで次走者のスピードを十分高めることができ、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 ・動きなどでの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・陸上競技に自動的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にし、自己の責任を果たそうとしている。
	7																【知識・技能】 ・運動やスポーツの技術と体力は、相互に関連していること、また、期待する成果に応じた技術と体力の高めがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発展されるようになること、技術の種類に応じた学習の仕方があることを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・陸上競技に自動的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にし、自己の責任を果たそうとしている。
	9	陸上競技 ・短距離 ・リレー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・陸上競技の受渡しで次走者のスピードを十分高めることができ、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 ・動きなどでの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・陸上競技に自動的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にし、自己の責任を果たそうとしている。
	10	体育理論 ・運動・スポーツの学び方 (3項目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること、また、期待する成果に応じた技術と体力の高めがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発展されるようになること、技術の種類に応じた学習の仕方があることを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・運動やスポーツの技術と体力は、相互に関連していること、また、期待する成果に応じた技術と体力の高めがあることを理解している。
	11	陸上競技 ・長距離走	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・運動やスポーツの技術と体力は、相互に関連していること、また、期待する成果に応じた技術と体力の高めがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発展されるようになること、技術の種類に応じた学習の仕方があることを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・運動やスポーツの技術と体力は、相互に関連していること、また、期待する成果に応じた技術と体力の高めがあることを理解している。
二年(実践力養成期)	12	体育理論 ・運動・スポーツの学び方 (3項目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること、また、期待する成果に応じた技術と体力の高めがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発展されるようになること、技術の種類に応じた学習の仕方があることを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・運動やスポーツの技術と体力は、相互に関連していること、また、期待する成果に応じた技術と体力の高めがあることを理解している。
	1	3領域選択Ⅱ ・ダンス ・武道 ・サッカー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・各ドームでは、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・武道に自動的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとし、健康・安全を確保している。
	2																【知識・技能】 ・各ドームでは、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・武道に自動的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとし、健康・安全を確保している。
三学期	3																【知識・技能】 ・各ドームでは、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・武道に自動的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとし、健康・安全を確保している。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しており、それらの技能を身に付けています。	・事実的な知識の習得を問う小テスト ・スキルテスト ・ゲーム結果分析
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・グループノート ・小テスト ・ゲーム内容分析
主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参考する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養っている。	・グループノートの記入状況 ・授業態度、グループにおける話し合い ・準備、片付けへの取り組み方

使用教科書	現代高等保健体育 (大修館)	副教材等	現代高等保健体育ノート (大修館)
学習の到達目標		保健の見方・考え方を働きかせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。	

学 期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準		
			力挨拶・礼儀(基礎人間) と思考・学実力(基礎材料) の知識) や相應 能力	コミュニケーション 能力	情報収集力	力想像力・ 未来を予測する 力	課題を見 出す力	力客観的 に物事を見 つめる 力	ン力情報 ーク分析 テクニ カル批判 的思 考	創造する 力	情報 発信 力	課題を解 決する 力	設 計 力 を 切 り 拓 く キ ア リ ア	
二年(基礎力養成期)	一学期	生涯を通じる健康 1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に觸り、健康課題が生じることがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・思春期に健康について、習得した知識に基いて、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関する情報を適切に整理している。 【思考・判断・表現】 ・生涯を通じる健康について、自己や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、筋道を立てて説明している。
		4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康 8 働くことと健康	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・妊娠生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解している。 ・受精、妊娠、出産とともに伴う健康課題について理解するとともに、健康課題には年齢や生活習慣なども関わることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関する原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自己や社会の課題を発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理して説明できる。
		7 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて個人の取組と社会的対策を整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法を実践している。
	二学期	健康を支える健康づくり 10 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壤汚染と健康	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壤汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・健康を支える健康づくりにおける事象や慣習などについて、健康に関する原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自己や社会の課題を見直している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・健康の影響や被害を防ぐために、生活の質の向上を図ることで抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることを必要と説明できる。
		11 3 環境と健康にかかわる対策 4ごみの処理と上下水道の整備 5 食品の安全性	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・環境汚染などの法律等が制定されており、環境基準の設定、排出物の規制、監視体制の整備などの統合的・計画的対策が講じられていることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事象を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防ぐべき行為や対策について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・上下水道整備、ごみや廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われることについて説明し、実践に繋げている。
		12												
二年(実践力養成期)	三学期	6 食品衛生にかかわる活動 7 保健サービスとその活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・人の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全な扱い方など、健康に深遠な被害をもたらすことがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・食品の安全性と食品衛生に関する活動について、習得した知識を自己の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保証増進するための計画を立てている。
		8 医療サービスとその活用 9 医薬品の制度とその活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・我が国では、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから構成される保健・医療の供給、医療費の保障も含め、医療の運営など様々な制度が提供されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることを利用の仕方を整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・医薬品の制度と関連付けて、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。
	3	10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・我が国や世界は、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・健康を支える環境づくりにおいて、自己や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、筋道立てて説明したりしている。

		評価の観点内容	評価方法
知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	・実事的な知識の習得を問う小テスト ・単元テストの結果 ・実技講習の結果	
思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養っている。	・保健ノートの記入内容 ・発表の内容 ・単元テストの内容	
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養っている。	・保健ノートの記入状況 ・発表の状況 ・グループでの話し合いへの取り組み方	

使用教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	アクティブスポーツ(大修館)	
学習の到達目標		体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るために資質・能力を育成する。		

学 期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準					
			力挨拶・礼儀 ～基礎人間 ～	と思考する ～実践への ～の知能～ ～や根拏	コミュニケーション能 力	情報収集力	力想像力・ ～未未を予測する ～	課題を発見する ～	力客観的 ～認知事を見つめる ～	論理的思考力	創造する ～	情報分析力 ～批判的 ～	課題を解決する ～	未計策を切り拓く ～	主体的な行動力	協同ワーク	
三年 (基礎力養成期)	4	体づくり運動	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・体はぐくの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができる。 ・実生活にでかず運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとし、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。
	5																【知識・技能】 ・ダンス 【思考・判断・表現】 ・感じを込めて踊ったり、ダンスの名称や用語を理解し、イメージを深めた表現や踊りを通した交流や発表ができる。 【球技】 ・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前の侵入などから攻防をすることができる。 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に自動的に取り組むとともに、フェアなプレイをしようとしており、作戦を立てることなどを大切にしている。
	6	2領域選択Ⅰ ・ダンス ・バレー・ボーラー ・サッカー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・陸上競技 ・短距離・リレー 【思考・判断・表現】 ・動きながらの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・陸上競技に自動的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にし、自己の責任を果たそうとしている。
	7																【知識・技能】 ・陸上競技 【思考・判断・表現】 ・動きながらの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・陸上競技に自動的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にし、自己の責任を果たそうとしている。
	9	陸上競技 ・短距離 ・リレー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・短距離・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることで、この中の受渡しの速度で次走者のスピードを十分高めることができ、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができます。 【思考・判断・表現】 ・動きながらの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・陸上競技に自動的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にし、自己の責任を果たそうとしている。
	10	体育理論 ・豊かなスポーツライフの設計 (2項目) 陸上競技 ・長距離走	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・スポーツは、各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があることを理解している。 ・スポーツの推進は、様々な施策や組織、人々の支援や参画によって支えられていることを理解している。 ・人生に無いもたらす貴重な文化的資源として、スポーツを未来に継承するためには、スポーツの可能性と問題点を踏まえて適切な「する、見る、支える、知る」などの関わりが求められることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解法に向けて探し判断するとともに、他者に伝えることができること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組んでいる。
	11	体育理論 ・豊かなスポーツライフの設計 (2項目) 2領域選択Ⅱ ・ダンス ・バスケットボール ・卓球	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
三年 (実践力養成期)	12																
	1	2領域選択Ⅲ ・ダンス ・バドミントン ・ソフトボール	○	○	○	○											【知識・技能】 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
	2																
	3																

		評価の観点内容	評価方法
知識・技能		運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しており、それらの技能を身に付けています。	・事実的な知識の習得を問う小テスト ・スキルテスト ・ゲーム結果分析
思考・判断・表現		生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・グループノート ・小テスト ・ゲーム内容分析
主体的に学習に取り組む態度		運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しみ度を養っている。	・グループノートの記入状況 ・授業態度、グループにおける話し合い ・準備、片付けへの取り組み方

使用教科書	MOUSA1 (教育芸術社)	副教材等	Music Note (啓隆社)
学習の到達目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を身に付ける。		

学 期	月	単元名	基礎力		思考力			実践力			活動内容・評価規準						
			力探し・札儀 (基礎人間)	と思考する 実践の (知材料や根拠) 能力	コミュニケーション能力	情報収集力	方想像力 ・未来を予測する 力	課題を発見する 力	力客観的 に認物の 思考	論理的 な思考	シカグ 情報分析 力	創造する 力	情報 発信力	課題を解 決する 力	設備 計画力	主体的な 行動力	協働力 「ムワーグ」
一年 (基礎力養成期) 一学期	4 5 6 7	【歌唱】 ・发声の基本を身につけよう ・曲想を感じて歌おう	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○
		【器楽】 ・ギターの弾き語りに挑戦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		【鑑賞】 ・音楽の要素とイメージをつけよう ・音楽史(古代ギリシャ～バロック)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		【理論・ソルフェージュ】 ・音符や休符について ・リズムについて ・ボディーバーカッションを楽しもう	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一年 (基礎力養成期) 二学期	9 10 11 12	【歌唱】 ・外国语の歌曲に挑戦 ・日本歌曲に親しもう	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○
		【器楽】 ・響け!バイオリン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		【鑑賞】 ・ピアノによるさまざまな表現効果を聴き取ろう ・音楽史(古典～ロマン)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		【理論・ソルフェージュ】 ・音程について ・和音について ・視唱 ・聴音	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一年 (基礎力養成期) 三学期	1 2 3	【器楽】 ・和楽器に挑戦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		【鑑賞】 ・さまざまな主題とその構成を聴き取ろう ・音楽史(現代)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		【理論・ソルフェージュ】 ・視唱 ・聴音	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

		評価の観点内容	評価方法
知識・技能		曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付けているか。	・観察法(出席、態度) ・ワークシート ・Music Note ・実技テスト ・単元別小テスト
思考・判断・表現		それぞれのイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができているか。	
主体的に学習に取り組む態度		主体的・協働的に幅広い活動に取り組み、音楽に親しみながら生活や社会を明るく豊かなものにしようとしているか。	

使用教科書	高校生の美術1（日本文教出版）	副教材等	
学習の到達目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働きかせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を身に付ける。		

学年 （基礎・思考・実践力養成期）	学期	月	单元名	基礎力		思考力			実践力			活動内容・評価規準							
				力挨拶・礼儀 ～基礎人間	概念考 る実践力の （材料や根 據）	情報収集力	カコミュ ニケーション能	る想像力・未 来を予測す る力	課題を発見す る力	る考 察的 に物 事認 知	論理的 的思考 のメタ物 事認 知	シナリオ編 成力分析力	創造する 力	情報 収集力	課題を解 決する 力	主体的 的な行 動能力	アート 表現方 式を切り 拓くキャ ラ	～チ ームワ ーク	
一年 （基礎・思考・実践力養成期）	一学期	4	【鑑賞】 オリエンテーション 「美術とは何か」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	小中学校での活動を振り返りながら、教科書や資料を活用して美術を学ぶ意義を考える。 【知識・技能】 美術表現の多様性や社会の中での役割について理解することができる。 【思考・判断・表現】 美術と社会や日常生活との関わりについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 これまでの活動を振り返り、今後の学習の目標を明確にしようとする。
		5	【表現・鑑賞／絵画】 鉛筆デッサン 「形、空気、光を描く」	○	○			○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	幾何形体や自分の手をモチーフに、対象の構造や立体感、光線や陰影、空間との関係に着目しながらデッサンする。 【知識・技能】 対象を観察する際のポイントや鉛筆の使い方を理解することができる。 【思考・判断・表現】 対象の特徴を捉え、用具の使い方を工夫しながら表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な視点から観察するなど、対象の特徴について理解しようとする。
		6	【表現・鑑賞／デザイン】 サインのデザイン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	サインやシンボルマークの特徴、意義について学び、自分自身の情報をシンボルマークとして表現する。 【知識・技能】 シンボルマークの意義、造形的な工夫や魅力について理解することができる。 【思考・判断・表現】 自分に関する情報を収集・整理し、色や形などデザインを工夫して表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に情報を集め、アイデアスケッチを重ねてデザインをブラッシュアップすることができる。
二学期	二学期	9	【表現・鑑賞／絵画】 アクリル絵具による空想画 「不思議な心象風景」	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ショールリアリズムについて学習し、空想することや偶然の効果を活かして非現実的な世界を表現した絵画制作を行う。 【知識・技能】 ショールリアリズムの歴史や特徴、多様な技法について理解することができます。 【思考・判断・表現】 空想を膨らませたり偶然の要素を取り入れながら作品の構想を練り、イメージに合った表現をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な資料を収集し、アイデアスケッチを多く試行しながら構図や技法を工夫しようとする。
		10																	
		11	【表現・鑑賞／映像メディア表現】 写真表現 「私の日常」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	構図や視点、光線など写真表現の基礎的な事柄、デジタルカメラの構造などについて学び、自分の日常を象徴するような写真作品を作る。 【知識・技能】 写真表現における撮影時のポイントについて理解することができる。 【思考・判断・表現】 自分の日常を象徴するようなモチーフや場面設定を行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く撮影や試作を重ね、適切な構図や視点を探ろうとする。
三学期	三学期	1	【表現・鑑賞／彫刻】 身近な素材による立体作品 (モビール) 「動く彫刻」	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	身近な素材を組み合わせ、テーマ性を持ったモビールを作成する。 【知識・技能】 立体表現としてのモビールのよさや特徴について理解することができる。 【思考・判断・表現】 素材の特長を活かしてイメージに沿ったデザインや造形を行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 テーマに合った素材について探求しようとする。
		2																	
		3	【鑑賞】 「日本美術について学ぶ」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	谷崎潤一郎著「陰影礼賛」を軸に、日本美術の特徴や歴史、西洋美術との共通点や違いについて学ぶ。 【知識・技能】 日本美術のよさや特徴について理解することができる。 【思考・判断・表現】 西洋美術との違いについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に情報収集し、理解を深めようとする。

評価の観点内容		評価方法
知識・技能	対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 ワークシート 作品 小テスト
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもつて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 ワークシート 作品
主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付けようとする。	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 ワークシート 作品

使用教科書	書Ⅰ（教育図書）	副教材等	
学習の到達目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働きかせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質や能力を養う。		

評価の観点		評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見交換や観点の確認（活動の様子・ワークシート） 作品制作・取り組みの記録（ワークシート）
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現の意図の創出、言葉の選定、構想・工夫の構築等（ワークシート） 意見交換における発言や記録（活動の様子・ワークシート） 相互鑑賞や意見交換を通しての自己評価と構想・工夫の見直し（活動の様子・ワークシート）
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現の意図、構想、表現の工夫の取り組みの記録（ワークシート） 表現を工夫して表す活動への取り組み（作品制作・活動の様子） 鑑賞、及びそれを通して考えたことや生かそうとする取り組み（活動の様子・ワークシート）

使用教科書	MOUSA2 (教育芸術社)	副教材等	Music Note (啓隆社)
学習の到達目標	音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を身に付ける。		

学 期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準					
			力接 ・化 儀 (基 礎人 間 の知 材 や根 據 能 力)	思 考 な る 実 力 践 (基 礎人 間 の知 材 や根 據 能 力)	コ ミ ニ ケ ー シ ヨ ン 能 力)	情 報 収 集 力)	方 想 像 力 ・ 未 来 を 予 測 す る 力)	課 題 を 発 見 す る 力)	力 客 観 的 に 認 物 事 を 見 つ め る 力)	論 理 的 思 考 力)	シ カ ク 報 分 析 力 ・ リ テ ラ チ カ 思 考 力)	創 造 力 ・ イ デ ア イ ベ カ 服 ル シ ン 思 考 力)	信 報 發 信 力)	課 題 を 解 決 す る 力)	設 計 未 計 画 力 を 切 り 拓 く キ ア リ ア	主 体 的 的 な 行 動 力)	協 力 ・ ム ワ ー ク)
一 学 期	4	【歌唱】 言葉と表現を大切にした二部合唱を楽しもう ～中島みゆきの「糸」～	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・ふさわしい発声法で歌が歌うことができる。 ・自分のハートをしっかり歌うことができる。 【思考・判断・表現】 ・ここは歌フレーズを活かした表現を工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・良い姿勢で積極的に歌を歌う。 ・ハート内で自分の役割を意識して活動する。
		【創作】 ・箇笛で演奏できるオリジナル曲を作ろう	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・箇笛の基本的な奏法を身に付けています。 ・自分で作った作品を演奏できる。 【思考・判断・表現】 ・リズムや音の組み合わせを工夫し創作する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に創作活動に取り組む。
		【鑑賞】 音楽の要素に着目して、2つの曲を聞き比べよう ～ヴィヴァルディの「冬」とピアソラの「冬」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【思考・判断・表現】 ・楽曲の特徴を捉えている。 ・楽曲に対する自分なりの考え方を主張する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に鑑賞し、感じたことなどをまとめる。
	二年（ 思考力養成期）	【創作】 オリジナルの歌唱作品もしくは器楽作品を作ろう	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・創作についての簡単な知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・リズムや音の組み合わせ等を工夫し創作する。 ・創作した曲を記譜することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に創作活動に取り組む。
		【鑑賞】 映画を彩る音楽 ～映画と音楽の関わりについて考えよう～	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【思考・判断・表現】 ・時代やジャンルによる音楽の特徴や良さをとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に鑑賞し、感じたことなどをまとめること。
		【器楽】 ピアノに挑戦 ～両手で好きな曲を奏でよう～	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・ピアノを両手で演奏する。 【思考・判断・表現】 ・テンポやリズム、強弱などを意識して表現を工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に練習をしている。 ・他の者のアドバイスを聞く。
二 学 期	三 学 期	【鑑賞】 コンデンボラリー・ミュージックを楽しもう	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【思考・判断・表現】 ・楽曲の特徴を捉えている。 ・楽曲に対する自分なりの考え方を主張する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に鑑賞し、感じたことなどをまとめること。
		【器楽】 ピアノに挑戦 ～演奏会を開こう～	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・ピアノを両手で演奏する。 【思考・判断・表現】 ・テンポやリズム、強弱などを意識して表現を工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演奏会を開催する。

		評価の観点内容	評価方法
知識・技能		曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けているか。	・観察法（出席、態度） ・ワークシート ・Music Note ・実技テスト ・単元別小テスト
思考・判断・表現		個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができているか。	
主体的に学習に取り組む態度		主体的・協働的に音楽の諸活動に取組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情をのばし、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を身に付けたか。	

使用教科書	高校生の美術2（日本文教出版）	副教材等
学習の到達目標	美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働きかせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を養う。	

学年	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準		
			関係力 力移 ・感 と、 な考 考と の基 力材 へ料 入	統 能コ ニク ニケ ニテ の基 力材 へ料 入	情 能 収集 力	す想 力・ 能 を予 測	認 識 能 力を 発 見 る 方 法	論 理 的 に 物 の 思 考 方 法	創 造 す る 力	情 報 能 信 力	課 題 を 解 決 す る 力	リ ツ ア 来 設 計 カ リ カ ラ 行 動 力	主 体 的 な 行 動 力	一 括 力 ヒ ム ワ タ ク
一年 一 学期	4	【鑑賞・表現／絵画】 アクリル絵具による自画像 (F6キャンバス) 「17歳の自画像」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・古今東西の自画像表現を鑑賞し、自画像の魅力や良さを味わうことができる。 【思考・判断・表現】 ・現在の自分自身の心情や環境を踏まえ、意図に合ったポーズや表情、背景や額以外のモチーフについて構想を練ることができます。 ・自画像とモチーフの配置、背景とのバランスを考えながら表現意図に合った構図を考えることができる。 ・タッチやマチエールを工夫し、魅力ある色彩表現を模索することができます。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料を活用したり、アイデアスケッチを多数試行したりしようとする。
	5	【鑑賞】 「西洋美術史入門（前編）」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・古代からゴシック期までの美術作品の特性や魅力を理解することができます。 【思考・判断・表現】 ・表現様式と歴史の関わりについて思考することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に資料探求をしたり感じたことなどをまとめることができる。
二年 二 学期	9	【表現／デザイン】 ポスター制作(B4パネル) 「My Favorite Things～広告デザイナーになろう」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・ポスターの特性や魅力について理解を深めることができます。 【思考・判断・表現】 ・「自分が他人に紹介したいもの」をテーマに、モチーフ探求やアプローチの仕方を考えることができます。 ・効果的なキャッチコピーや文字（フォント）表現について思考することができます。 ・表現意図に合った構図（レイアウト）を模索することができる。 ・明度や彩度、トーンなど色彩原理について学び、効果的な配色を検討することができます。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に資料を活用したり取り組み方を行ったりしてより良い作品に仕上げようとすることができる。
	10	【表現／デザイン】 グリーティングカードの制作 「季節を彩るグリーティングカード」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・グリーティングカードの特性や魅力について理解を深めることができます。 【思考・判断・表現】 ・クリスマスや誕生日などのイベントを想定して、必要な情報や自分の気持ちを伝える表現を模索することができる。 ・紙の特性を活かしながら効果的な配色やレイアウトを考えることができます。 ・ホップアップなど、様々な仕掛けを工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料を活用したり試作を重ねより良い作品に仕上げようとする。
三年 三 学期	11	【表現／デザイン】 グリーティングカードの制作 「季節を彩るグリーティングカード」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・古今東西の彫刻（立体表現）を鑑賞し、その特性や魅力について理解を深めることができます。 ・石粉粘土の特徴を理解し、量感や質感の表現を模索することができます。 【思考・判断・表現】 ・現存する生物や植物、物などをベースに、組み合わせたり変更したりしながら空想上の生物について構想を練ることができます。 ・表現したいイメージに合った動き（ポーズ）について検討することができます。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料を活用したり油土による試作を納得いくまで行ったりして作品の質を向上させようとする。
	12	【鑑賞・表現／彫刻】 石粉粘土による具象彫刻 「空想動物園」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・ルネサンスから後期印象派までの美術作品の特性や魅力を理解することができます。 【思考・判断・表現】 ・表現様式と歴史の関わりについて思考することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に資料探求をしたり感じたことなどをまとめることができる。
四年 一 学期	13	【鑑賞】 「西洋美術史入門（後編）」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・ルネサンスから後期印象派までの美術作品の特性や魅力を理解することができます。 【思考・判断・表現】 ・表現様式と歴史の関わりについて思考することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に資料探求をしたり感じたことなどをまとめることができる。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるか。	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取組 作品 ワークシート
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるか。	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取組 作品 ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな社会を創造していく態度を養うことができたか。	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取組 作品 ワークシート

使用教科書		書II(教育図書)		副教材等		評価の観点内容														評価方法				
学習の到達目標		書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働きかせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を養う																						
学 期	月	単元名	基礎力						思考力						実践力						活動内容・評価規準			
			接種・社会的知識(人間力)	コミュニケーション力	情操取扱い力	表現力を発見する力	表現力を育てる力	表現力を発揮する力	論理的思考力	問題解決力	物事を見つける力	物事を整理する力	創造力	創造力	表現力を育む力	表現力を育む力	表現力を育む力	表現力を育む力	表現力を育む力	表現力を育む力				
二年 第一學期 集中力育成期	一 4	漢字の書 篆書 甲骨文 百姓 石鼓文 泰山刻石 隸書 漢簡 封書 國通褒斜道刻石 五門道 乙瑛碑 曹全碑 草書・行書 居延漢簡 李柏枝續稿 十七帖	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・漢字の書を構成する様々な要素について理解している。 ・漢字の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・漢字の書の複雑性、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・漢字の書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解している。 ・漢字の書に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 ・漢字の書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。	【思考・判断・表現】 ・漢字の書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 ・漢字の書の古典の構造とその根柢について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。		
二年 第一學期 集中力育成期	9	楷書 始平公造像記 魏義上碑 益法師碑																						
二年 第一學期 集中力育成期	10	漢字の書の作品制作	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・仮名の書 古今和歌集の古箇 閑戸本古今和歌集 高野切古今和歌集 歌らし書き 曲詠ふ表す個性的な様の美	【知識・技能】 ・仮名の書を構成する様々な要素について理解している。 ・仮名の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・仮名の書の複雑性、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 ・日本の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・仮名の書の特質とその歴史について理解している。 ・仮名の書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解している。 ・仮名の書に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 ・墨絞ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・仮名の書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・仮名の書の古典の価値とその根柢について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自身の表現の意図に基づく表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・仮名の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	
二年 第一學期 集中力育成期	11	仮名の書 古今和歌集の古箇 閑戸本古今和歌集 高野切古今和歌集 歌らし書き 曲詠ふ表す個性的な様の美	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・仮名の書を構成する様々な要素について理解している。 ・仮名の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・仮名の書の複雑性、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 ・日本の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・仮名の書に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 ・墨絞ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身に付けている。	
二年 第一學期 集中力育成期	12	仮名の書の作品制作	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・漢字仮名交じりの書 自分の意図に応じた表現 音楽と書の調和	【知識・技能】 ・漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素について理解している。 ・筆致や現代の様々な書の表現用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・漢字仮名交じりの書の伝統と文化について理解している。 ・漢字仮名交じりの書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解している。 ・目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能を身に付けている。 ・漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・漢字仮名交じりの書の目的や用途、表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 ・漢字仮名交じりの書の現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 ・漢字仮名交じりの書の古典の価値とその根柢について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・漢字仮名交じりの書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。
二年 第二學期 集中力育成期	1	漢字仮名交じりの書 自分の意図に応じた表現 音楽と書の調和	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素について理解している。 ・筆致や現代の様々な書の表現用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・漢字仮名交じりの書の伝統と文化について理解している。 ・漢字仮名交じりの書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解している。 ・目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能を身に付けている。 ・漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。	【知識・技能】 ・漢字仮名交じりの書の目的や用途、表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 ・漢字仮名交じりの書の現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 ・漢字仮名交じりの書の古典の価値とその根柢について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・漢字仮名交じりの書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。
二年 第二學期 集中力育成期	2	漢字仮名交じりの書の作品制作	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・刻字を構成する様々な要素について理解している。 ・刻字の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・刻字の複雑性、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 ・刻字の特質とその歴史について理解している。 ・刻字の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解している。 ・刻字の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 ・刻字の書の表現形態に応じた効果的な表現の技能を身に付けている。	【知識・技能】 ・刻字を構成する様々な要素について理解している。 ・刻字の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・刻字の複雑性、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 ・刻字の特質とその歴史について理解している。 ・刻字の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解している。 ・刻字の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 ・刻字の書の表現形態に応じた効果的な表現の技能を身に付けている。
二年 第二學期 集中力育成期	3	刻字作品制作	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・刻字を構成する様々な要素について理解している。 ・刻字の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・刻字の複雑性、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 ・刻字の特質とその歴史について理解している。 ・刻字の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解している。 ・刻字の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。	【知識・技能】 ・刻字を構成する様々な要素について理解している。 ・刻字の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・刻字の複雑性、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 ・刻字の特質とその歴史について理解している。 ・刻字の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解している。 ・刻字の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。
評価の観点内容			評価方法																					
知識・技能			・書の表現の方法や形式、書表現の多様性などについて理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付け、表している。														・意見交換や観点の確認(活動の様子・ワークシート) ・作品制作・取り組みの記録(ワークシート)							
思考・判断・表現			・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かな表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。														・表現の意図の割出、言葉の選定、構想・工夫の構築等(ワークシート) ・意見交換における發言や記録(活動の様子・ワークシート) ・相互鑑賞や意見交換を通しての自己評価と構想・工夫の見直し(活動の様子・ワークシート)							
主体的に学習に取り組む態度			・主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書に対する愛情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしている。														・表現の意図、構想、書表現の工夫の取り組みの記録(ワークシート) ・表現を工夫して表す活動への取り組み(作品制作・活動の様子) ・鑑賞、及びそれを通して考えたことや生かそうとする取り組み(活動の様子・ワークシート)							

使用教科書	Joy of Music (教育芸術社)	副教材等	Music Note (啓隆社), 各自分が選択した実技テキスト
学習の到達目標	音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を身に付ける。		

学期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準						
			力挨拶・礼儀（基礎人間関係）	と思考・実践の知識（知識科や根拠）	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	力客観的・物に物知りを見つめる力	論理的思考力	ン力情報分析力	イーク力批判的・批評的・議論的思考	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設未来計画力	主体的な行動力	協働力（ムーワーク）
三年（実践力養成期）	一学期	【歌唱】 ・イタリア歌曲、日本歌曲に親しむ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・ふさわしい発声法で歌唱できる。 【思考・判断・表現】 ・ことばやフレーズを活かした表現を工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に歌唱活動に取り組む。
		【器楽】 ・各自選択楽曲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・基本的な奏法を習得し演奏できる。 【思考・判断・表現】 ・時代背景や作曲家の個性、フレーズを活かした表現を工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に器楽活動に取り組む。
		【鑑賞】 ・様々な時代の名曲を鑑賞しよう	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・楽曲に対する自分の感覚を捉えている。 【思考・判断・表現】 ・楽曲に対する自分の考えを主張する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に鑑賞し、感じたことなどをまとめる。
		【理論・ソルフェージュ】 ・音楽理論 ・視唱 ・聴音	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・基本的な音声を習得している。 ・簡単なフレーズを読み取り、楽譜に書くことができる。 【思考・判断・表現】 ・音楽の基本的な理論を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的にソルフェージュ活動に取り組む。
三年（実践力養成期）	二学期	【歌唱】 ・イタリア歌曲、日本歌曲に親しむ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・ふさわしい発声法で歌唱できる。 【思考・判断・表現】 ・ことばやフレーズを活かした表現を工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に歌唱活動に取り組む。
		【器楽】 ・各自選択楽曲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・基本的な奏法を習得し演奏できる。 【思考・判断・表現】 ・時代背景や作曲家の個性、フレーズを活かした表現を工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に器楽活動に取り組む。
		【鑑賞】 ・様々な時代の名曲を鑑賞しよう	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・作曲家や時代背景、楽曲の特徴を捉えている。 【思考・判断・表現】 ・楽曲に対する自分の考えを主張する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に鑑賞し、感じたことなどをまとめる。
		【理論・ソルフェージュ】 ・音楽理論 ・視唱 ・聴音	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・基本的な音声を習得している。 ・簡単なフレーズを読み取り、楽譜に書くことができる。 【思考・判断・表現】 ・音楽の基本的な理論を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的にソルフェージュ活動に取り組む。
三年（実践力養成期）	三学期	【歌唱】 ・イタリア歌曲、日本歌曲、ドイツ歌曲に親しむ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・ふさわしい発声法で歌唱できる。 【思考・判断・表現】 ・ことばやフレーズを活かした表現を工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に歌唱活動に取り組む。
		【器楽】 ・各自選択楽曲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・基本的な奏法を習得し演奏できる。 【思考・判断・表現】 ・時代背景や作曲家の個性、フレーズを活かした表現を工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に器楽活動に取り組む。
		【鑑賞】 ・様々な時代の名曲を鑑賞しよう	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・作曲家や時代背景、楽曲の特徴を捉えている。 【思考・判断・表現】 ・楽曲に対する自分の考え方を主張する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に鑑賞し、感じたことなどをまとめる。
		【理論・ソルフェージュ】 ・音楽理論 ・視唱 ・聴音	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・基本的な音声を習得している。 ・簡単なフレーズを読み取り、楽譜に書くことができる。 【思考・判断・表現】 ・音楽の基本的な理論を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的にソルフェージュ活動に取り組む。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けているか。	・観察法（出席、態度） ・Music Note ・実技テスト ・筆記試験
思考・判断・表現	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができているか。	
主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていくことをしているか。	

使用教科書	高校生の美術3（日本文教出版）	副教材等	
学習の到達目標	美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術文化と深く関わる資質・能力を養う。		

学 期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準						
			力挨拶・礼儀（基礎人間）	と思考する実験力（材料や根拠の知識）	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	力客観的（メタに認知）で物事を見つめる力	論理的思考力	シカク分析力（クリティカル思考）	創造する力	情報収集力	課題を解決する力	設未来計画力（切り拓くキャリア）	主体的な行動力	協働力（チームワーク）	
一 学 期	4	【表現・鑑賞/絵画】 木炭デザイン 「古典彫刻をデッサンする」							○	○							像の持つ印象、プロポーションや立体感などを深い観察により理解し、木炭の特長を生かした素描表現について学ぶ。 【知識・技能】 石膏像の構造やプロポーション、動勢、量感について理解することができる。 【思考・判断・表現】 木炭の特性を生かし、陰影（や光）の階調表現を工夫して行なうことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 エスキースを重ね、表現意図に合った構図の探求を行なうことができる。	
	5								○	○	○	○	○	○	○			
	6																	
三年（実践力養成期）	7	【鑑賞】 「現代の美術表現とは」	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20世紀以降の美術表現の多様性について理解を深め、2学期以降の活動に生かす。 【知識・技能】 幅広い素材や表現方法、社会との関わりから生まれる多様な表現について理解することができる。 【思考・判断・表現】 自分自身の生活や創作と関連付けながら鑑賞、思考し、レポートにまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 タブレットなどを積極的に活用し、情報収集を行い、理解を深めようとする。
	9	【表現/各分野】 自主設定テーマによる集大成的作品制作（絵画・彫刻・版画・デザインの中から分野を選択）																I年次より学習したことを生かし、高校生活の集大成となるような作品制作を行う。 【知識・技能】 これまで学習したことを振り返りながら主題や表現方法に基づいた活動の計画を立てて制作を行うことができる。 【思考・判断・表現】 自らが設定した主題に応じた表現技法、素材を選択し、ねらいや意図を明確にして活動を行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分自身の表現を実践するために、情報を収集したり教師と相談したりしながら積極的に活動することができます。
	10		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
二 学 期	11																	
	12																	
	1	【表現/各分野】 自主設定テーマによる集大成的作品制作（絵画・彫刻・版画・デザインの中から分野を選択）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	I年次より学習したことを生かし、高校生活の集大成となるような作品制作を行う。 【知識・技能】 これまで学習したことを振り返りながら主題や表現方法に基づいた活動の計画を立てて制作を行うことができる。 【思考・判断・表現】 自らが設定した主題に応じた表現技法、素材を選択し、ねらいや意図を明確にして活動を行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分自身の表現を実践するために、情報を収集したり教師と相談したりしながら積極的に活動することができます。
	2																	
三 学 期	【鑑賞】 相互鑑賞および学習の総括																	相互の作品鑑賞やそれぞれの制作の振り返りを行い、学習の総括を行う。

		評価の観点内容	評価方法
知識・技能		対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができたか。	
思考・判断・表現		造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができたか。	授業への取組 ・作品 ・レポート ・ワークシート
主体的に学習に取り組む態度		主体的に美術の独創的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うことができたか。	

使用教科書	書III (教育図書)	副教材等	
学習の到達目標	書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を養う。		

学 期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準					
			力挨拶・礼儀へ基づき人間関係の知識	思考する・学力実践への知能	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力を発見する力	課題を見つめる力	客観的視点で物語を見つめる力	論理的思考力	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設計未来を切り拓く行動力	主体的な行動力	協働力(ムワーキア)	
一学期	4	表現を知る 書 思いを形にするために														【知識・技能】 ・漢字の書を構成する様々な要素について理解を深めている。 ・漢字の書の伝統を踏まえ、書体の特色を生かして創造的に表現する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・漢字の書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 ・漢字の書の古典の価値とその根柢について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自身の表現の意図に基づく表現。漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	
	5	自分らしさ・あの人らしさ 漢字の書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・仮名の書を構成する様々な要素について理解を深めている。 ・書の伝統を踏まえ、仮名の書の特色を生かして創造的に表現する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・仮名の書の全体的な構造に基づく個性的、創造的な表現を追求している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に仮名の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。
	6 7	鑑賞を知る 書 漢字の書															【知識・技能】 ・現代の社会生活に生きる様々な書の表現とその要素について理解を深めている。 ・書の伝統を踏まえ、目的や用途、意図に応じて創造的に表現する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・主体的な構思に基づく個性的、創造的な表現を追求している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。
三年（実践力養成期）	9 10	自分らしさ・あの人らしさ 仮名の書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・書の表現の方法や形式、書表現の多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付け、表している。
	11	鑑賞を知る 書 仮名の書															【知識・技能】 ・書の表現の意図に基づく表現。漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 【思考・判断・表現】 ・自身の表現の意図に基づく表現。漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
	12	自分らしさ・あの人らしさ 漢字仮名交じりの書															【知識・技能】 ・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に深く構思し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。
三学期	1	鑑賞を知る 書 漢字仮名交じりの書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・書の表現の意図に基づく表現。漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
	2																【思考・判断・表現】 ・主体的な構思に基づく個性的、創造的な表現を追求している。
	3																【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。

		評価の観点内容	評価方法
知識・技能		・書の表現の方法や形式、書表現の多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付け、表している。	・意見交換や観点の確認（活動の様子・ワークシート） ・作品制作・取り組みの記録（ワークシート）
思考・判断・表現		・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に深く構思し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	・表現の意図の創出、言葉の選定、構想・工夫の構築等（ワークシート） ・意見交換における発言や記録（活動の様子・ワークシート） ・相互鑑賞や意見交換を通しての自己評価と構想・工夫の見直し（活動の様子・ワークシート）
主体的に学習に取り組む態度		・主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしている。	・表現の意図、構想、表現の工夫の取り組みの記録（ワークシート） ・表現を工夫して表す活動への取り組み（作品制作・活動の様子） ・鑑賞、及びそれを通して考えたことや生かそうとする取り組み（活動の様子・ワークシート）

使用教科書	MY WAY English Communication I (三省堂)	副教材等	英文基本文例600
学習の到達目標	英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。		

学期	月	単元名	基礎力		思考力		実践力		活動内容・評価規準							
			力接・ 礼儀 （ 基礎人間 の 力の 学習 力の 実践 能 力）	と 考 る 事 の 学 習 力 の 実 践 能 力	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 能 力	情 報 収 集 力	力 想 像 力 ・ 未 来 を 予 測 す る 力	課 題 を 発 見 す る 力	力 客 観 的 の 認 物 知 事 を 見 つ め る	論 理 的 の 思 考 力	シ カ ト ク 分 析 リ テ ク ニ カ 批 判 的 の 思 考 力	創 造 す る 力	情 報 編 集 力	課 題 を 解 決 す る 力	設 計 力 を 切 り 拓 く キ ャ リ ア	主 体 的 な 行 動 力
一年（基礎力養成期）	一学期	4 Lesson 1 Proverbs Around the World	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】動詞の時制を理解し、話を聞き取る技能を身に付けています。 【思考・判断・表現】対話の概要や要点、必要な情報を、聞き取って捉えている。世界各地の特徴的なことわざについて、概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考しながら主体的に聞き取って捉えようとしている。
		5 Lesson 2 Iwago Mitsuaki—An Animal Photographer	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】助動詞、受け身を理解している。理由を述べる表現に注意しながら、対話を聞き取る技能を身に付けています。 【思考・判断・表現】対話の概要や要点、必要な情報を、聞き取って捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考しながら主体的に聞き取って捉えようとしている。
		6 Lesson 3 Sending Canned Mackerel to Space	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】動詞名詞、to不定詞の用法を理解している。相手の理解を確かめる表現の対話を聞き取る技能を身に付けています。 【思考・判断・表現】基本的な語句で考え方を伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを発表して伝えようとしている。
		7 Lesson 4 Messages from Winnie-the-Pooh	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】現在完了形、現在完了進行形、過去完了形に関する事項を理解している。考え方や意見をたすねる表現の意味を働きを理解している。 【思考・判断・表現】基本的な語句で考え方を伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】紹介したい日本の物語について、基本的な語句や文を用いて、主体的に考え方を話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしている。
		8 Lesson 5 Endangered Languages	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】現在分詞、過去分詞の形容詞的用法や理由をたずねる表現を理解し、対話を聞き取る技能を身に付けています。 【思考・表現】ログを読み取り、概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】学びたる言語について、基本的な語句や文を用いて、主体的に考え方を話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしている。
一年（発展力養成期）	二学期	9 Lesson 6 A Wheelchair Traveler	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】関係副詞、比較級・最高級を理解し、対話を聞き取る技能を身に付けています。 【思考・判断・表現】ボランティア活動について、グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え方を発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】ボランティア活動について、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら主体的に聞き取って捉えようとしている。
		10 Lesson 7 The Fugees	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】条件を表すif、仮定法過去を理解し、対話を聞き取る技能を身に付けています。 【思考・判断・表現】物語や過去を理解し、グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え方を発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】物語の概要や要点を把握している。
		11 Lesson 8 Avatar Robots	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】条件を表すif、仮定法過去を理解し、対話を聞き取る技能を身に付けています。 【思考・判断・表現】物語や過去を理解し、グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え方を発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】筆者の意見と想像力の関係について、講演の内容を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。
		12 Lesson 9 Kadono Eiko and the Power of Imagination	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】SYVO. (0.=how to ~) を理解している。相手の意見に反対する表現に注意しながら、対話を聞き取る技能を身に付けています。 【思考・判断・表現】物語や過去を理解し、グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え方を発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】筆者の意見と想像力の関係について、講演の内容を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。
一年（応用力養成期）	三学期	1 Lesson 10 SDGs—Sustainable Development Goals	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】プレゼンテーションの表現を理解し、内容を聞き取る技能を身に付けています。 【思考・判断・表現】グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、発表をするための原稿を書いています。 【主体的に学習に取り組む態度】SDGsについて、基本的な語句や文を用いて、主体的に考え方を話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしている。
		2 Reading The Tale of Johnny Town-Mouse	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】これまでに学習した文法事項や表現に注意しながら、物語を聞き取り、読み取る技能を身に付けています。 【思考・判断・表現】物語の概要や要点を聞き取って把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】物語の概要や要点を主体的に聞き取って捉えようとしている。物語を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。
		3 Reading The Tale of Johnny Town-Mouse	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】これまでに学習した文法事項や表現に注意しながら、物語を聞き取り、読み取る技能を身に付けています。 【思考・判断・表現】物語の概要や要点を聞き取って把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】物語の概要や要点を主体的に聞き取って捉えようとしている。物語を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。

		評価の観点内容	評価方法
知識・技能		○外国語理解の能力 外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。	<各学期の評価方法> ①学年末検査の成績 ②各課の評価問題の成績 ③授業への取り組みの様子 ④課題の提出状況と解答内容 ⑤授業時間内に行うパフォーマンス課題の成績
思考・判断・表現		○外国語表現の能力 外国語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現している。	<学年の評価方法> 知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して、年間の評価とする。
主体的に学習に取り組む態度		○コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	【評価結果】 A (3) : おおむね満足できる状況 B (2) : 十分満足できる状況 C (1) : 努力を要する状況

使用教科書	Vision Quest English Logic and Expression I Standard (啓林館)	副教材等	英作基本文例600
学習の到達目標	「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。		

学 期	月	単元名	基礎力										思考力				実践力				活動内容・評価規準
			力接続 と思想する 学実践の 知識や根拠 の材料や根拠	思考 の基盤人間	コミュニケーション 力	情報収集力	想像力 ・未 来 を予測する る力	課題を発見する る力	客観的 に物 認 知 を見つめる る力	論理的 な思 考 の力	シカ情報 分析力	創造する る力	情報 発信力	課題を解 決する る力	技術実 力を切り拓く り抜群の キャラクタ ー	主体的 な行 動 力	一括動 力ムワー ク				
一年（基礎力養成期） 一学期	4	Lesson 1 I want to introduce my new friend.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】疑問文、命令文、感嘆文を適切に作り、応答することができる。 【思考・判断・表現】相手の発話を適切に答えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】自分やパートナーのクラブ活動を紹介できる。文と文のつながりを意識して、まとまった文章を書いたり、伝えたりすることができる。			
	5	Lesson 2 Do you want to join our show?	○		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】5文型とThere is構造の理解し、自動詞と他動詞の使い分けができる。 【思考・判断・表現】会話を相手を激励したり、励ましたりすることができる。また、計画したり、行動したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】普段の生活や自分の部屋にあるものについて、具体例や情報を挙げて説明することができる。			
	6	Lesson 3 I'm planning a day trip this weekend.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】基本時制の構造と概念を理解し、適切な時制を用いて書いたり話したりすることができます。 【思考・判断・表現】会話を相手を激励したり、励ましたりすることができる。また、計画したり、行動したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】最近週末にしたことや予定していることについて、具体的に詳細を聞いて伝えることができる。会話の構造を理解し、論理的な展開やスムーズな進行を意識して、会話を組み立てることができる。			
	7	Lesson 4 Have you ever tried it before?	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】完了形の概念を理解し、それぞれの用法を区別することができる。 【思考・判断・表現】これまでの経験や初めての経験について、様々な表現を用いて尋ねたり、伝えたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】経験について伝え合うことができる。また、考え方や気持ち、具体例を挙げて、伝えたりすることができる。			
		Lesson 5 What do you want to do after school?	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】助動詞の意味と用法を理解し、適切に使い分けて表現することができる。 【思考・判断・表現】相手に許可や承認を依頼することができる。また、義務や必要性を伝えたくなり、過去の事柄を回想したり、反省することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】将来の夢について伝え合うことができる。また、自分の主張に情報や考え、気持ちなどを適切な理由や根拠を加えて書いて伝えることができる。			
一年（発展力養成期） 二学期	9	Lesson 6 Did you hear about the new shop?	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】受動態を理解し、必要に応じて使い分け、適切に伝えることができる。 【思考・判断・表現】様々な表現を表現することができます。 【主体的に学習に取り組む態度】自身の買い物について詳細に伝えることができる。また、情報や考え、気持ちなどを適切に伝えることができる。			
	10	Lesson 7 I'm happy to have you with us.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】不定詞の様々な用法を学び、より詳細な情報を伝えることができる。 【思考・判断・表現】相手を説得したり、申し出たりする表現を使うことができる。また、相手に物事を適切に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】プレゼンテーションの要と流れを理解し、原稿と提示する資料を準備することができます。また、事前に十分な練習を行い、具体的な内容を用いてわかりやすく説く説明することができます。			
	11	Lesson 8 What sport do you like playing?	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】動名詞の様々な用法を学び、動名詞句を使用した多様な文で伝えることができます。 【思考・判断・表現】相手を説得したり、申し出たりする表現を使うことができる。また、相手に物事を適切に推進することができます。 【主体的に学習に取り組む態度】スポーツをすることの利点について発表することができ、情報や知識を加えて説いて説明することができます。			
	12	Lesson 9 Digital media has come a long way.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】名詞を修飾する用法や補語になる用法、また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現することができます。 【思考・判断・表現】やや物事について情報を加えて詳しく説明することができます。また、判断の根拠を示す表現を使用して論理的に伝えることができます。 【主体的に学習に取り組む態度】データの概要や流れ、判定基準を学び、それぞれの立場で説得力のある意見を述べることができます。			
一年（応用力養成期） 三学期	1	Lesson 10 That's why I decided to go back.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】関係詞を用いて複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたり、複合関係詞を用いて隣接の意味を表すことができます。 【思考・判断・表現】やや物事について詳細に説明したり、言い換えや要約することができます。 【主体的に学習に取り組む態度】論理の展開を工夫しながら詳細に伝えたり、意見や主張などは根拠とともに文書を書いて伝えることができる。			
	2	Lesson 11 Which do you prefer, cheaper beans or expensive ones?	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】比較に関する様々な用法と表現を理解し、物事の状態を分かりやすく説明することができます。 【思考・判断・表現】提出する表現と称賛する表現を学び、適切な提案と受け答えができる 【主体的に学習に取り組む態度】ディスカッションの手順と役割を理解し、自分の意見と論拠を主張することができます。また、主張には根拠と具体的な例を加えて説明することができます。			
	3	Lesson 12 I think it's a good idea.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】仮定法を用いて、事実と違うことや実際には起こりえないことを述べることができます。 【思考・判断・表現】助言や願望を表す様々な表現を学び、相手や自分の立場に応じた適切な助言を求めたり、伝えたりすることができます。 【主体的に学習に取り組む態度】自分や家族に望むことについて、意見や主張の理由や根拠を具体的に示して、伝えることができる。			

評価の観点内容			評価方法
知識・技能			上に示す観点に基づいて学習のまとまりごとにA, B, Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。
思考・判断・表現			【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) インタビューテスト・発表（スピーチ・プレゼンテーション）等 (c) ノート・ワーク・レポート等の提出物 (d) 小テスト・定期考査等のペーパーテスト
主体的に学習に取り組む態度			【評価結果】 A (3) : おおむね満足できる状況 B (2) : 十分満足できる状況 C (1) : 努力を要する状況

使用教科書	MY WAY English Communication II (三省堂)	副教材等	英基本本文例600・Scramble 他
学習の到達目標	英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと「やり取り」、話すこと「発表」、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。		

学期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準				
			力挨拶・礼儀への知識や根拠	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	力客観的・認知的思考	論理的思考	シカ情報分析力	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設計力	主張的な行動力	一協力感
二年（基礎力養成期）	4	Lesson 1 Dances Around the World	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】SVO、SVOO等を用いた文構造について理解している。 【思考・判断・表現】レポートの概要や要点、必要な情報を、聞き取って捉えている。世界各地のダンスについて、概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】レポートの概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考しながら主体的に読み取り捉えようとしている。
	5	Lesson 2 Katsura Sunshine—Making the World Laugh	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】形式主語・形式目的語のitを用いた文構造を理解している。 【思考・判断・表現】インディビューフのスクリプトを読んで、文章の展開や書き手の意図を把握し、概要や要点、詳細を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを発表して伝えようとしている。
	6	Lesson 3 Living with Nature—Takita Asuka's Journey	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】現在完了形、現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形の用法を理解している。 【思考・判断・表現】野生動物の保護活動について理解を深め、基本的な語句で考え方を伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、主体的に情報や考え方を発表して伝えようとしている。
	7	Lesson 4 Sesame Street	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】知覚動詞、使役動詞を含むVOCの文や、help+動詞の原形での文構造について理解している。題材に込められたメッセージを読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】セサミストリートをきたがない子どもに、読み得られた情報を活用し、多様な語句や文を用いて、考え方を伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】基本的な語句や文を用いて、主体的に考え方を話し伝えたり、相手からの質問に答えようとしている。
二年（発展力養成期）	9	Lesson 5 From Landmines to Herbs	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】関係代名詞、関係副詞を用いた文構造を理解し、国際ボランティア活動について内容や効果などを話して伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】国際ボランティア活動について、多様な語句や文を用いて話し伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】グループで話し合った内容を基に、多様な語句や文を用いて、主体的に情報や考え方を発表して伝えようとしている。
	10	Lesson 6 Murals—The Power of Public Art	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】助動詞（過去形）、助動詞+have+過去分詞、完了不定式を理解し、対話を聞き取る技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】壁画プロジェクトについて、グループで話し合った内容を基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え方を発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】世界中の壁画プロジェクトについて、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考しながら主体的に捉えようとしている。
	11	Lesson 7 "Englishes" in the World	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】分詞構文、受け身・完了形の分詞構文、付帯状況のwithを用いた英文の構造を理解し、世界の様々な英語について理解する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】楽しみながら出来る英語の学習方法について、その効果や利点などを、ワークシートを参考にしながら話して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】グループで話し合った内容を基に、多様な語句や文を用いて、主体的に情報や考え方を発表して伝えようとしている。
	12	Lesson 8 Deepika Kurup—The Science Behind Clean Water	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】仮定法過去、仮定法過去完了、ifを用いない仮定法、no matter+疑問詞を用いた文構造を理解し、社会問題への発明家や起業家の取り組みを理解している。 【思考・判断・表現】特別授業に招待したい社会問題に取り組む発明家や起業家について、ワークシートを参考にしながら捉え、情報や考え方を発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】社会問題への取り組みを主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。
二年（応用力養成期）	1	Lesson 9 The World's Poorest President	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】同格のthat節、強調構文、倒置、省略を用いた文構造、及び共感する表現の意味や効果を理解している。 【思考・判断・表現】幸せを感じる時について、グループで話し合った内容を基に、多様な語句や文を用いて、発表をするための原稿を書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】ホセ・ムヒカさんの考え方を理解した上で、幸せについて主体的に考へ話をして伝えたり、相手からの質問に答えようとしている。
	2	Lesson 10 Living in an E-Society—The Pros and Cons	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】多様な語句や文、議論でよく使う表現を理解している。 【思考・判断・表現】eスポーツや電子書籍の長所と短所についての議論を読んで、文章の展開や書き手の意図を把握し、詳細を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】物語を主導的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。賛成や反対の立場から主体的に考え方を詳しく話して伝え、質問に答えようとしている。
	3	Reading 2 Syria's Secret Library	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】これまでに学習した文法事項や表現に注意しながら、物語を聞き取り、読み取る技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】シリアの秘密図書館について理解を深めるために、物語を読んで文章の展開を把握し、概要や要点、詳細を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】物語を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。

評価の観点内容			評価方法
知識・技能			<各学期の評価方法> ①学年末考査の成績 ②各課の評価問題の成績 ③授業への取り組みの様子 ④課題の提出状況と解答内容 ⑤授業時間内に行うパフォーマンス課題の成績
思考・判断・表現			<学年の評価方法> 知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して、年間の評価とする。
主体的に学習に取り組む態度			知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して、年間の評価とする。

使用教科書	Vision Quest English Logic and Expression II Hope (啓林館)	副教材等	英作基本文例 6 〇〇 他
学習の到達目標	「論理・表現 I」の学習内容を踏まえ、「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動を行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。		

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	<p>○英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。</p> <p>○目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けている。</p>	<p>上に示す観点に基づいて学習のまとまりごとにA, B, Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。</p> <p>学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。</p>
思考・判断・表現	<p>○目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。</p>	<p>【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) インタビューテスト・発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート等 (c) ノート・ワーク・レポート等の提出物 (d) 小テスト・定期検査等のペーパーテスト</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他人に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。</p>	<p>【評価結果】 A (3) : おおむね満足できる状況 B (2) : 十分満足できる状況 C (1) : 努力を要する状況</p>

使用教科書	MY WAY English Communication II (三省堂)	副教材等	英作文基本文例600・Scramble英文法・語法・Database Avail 英単語・熟語・大学入学共通テスト及び記述式試験対策問題集他
学習の到達目標	英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと【やり取り】、話すこと【発表】、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。		

学期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準		
			力挨拶・礼儀～基礎人間	と思考する実力～の知材料や根拠	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力～未来を予測する	課題を発見する力	力客観的～問題を見つめる	論理的思考力	シカ情報～分析力～批判的思考	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設未来計画を切り拓く力	主体的な行動力	～協働～力ムード
三年（基礎力養成期） 一学期	4	Lesson8 Deepika-Kurup-The Science Behind Clean Water	○	○		○		○		○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】仮定法過去、仮定法過去完了を理解し、社会問題への発明家や起業家の取り組みを理解している。 【思考・判断・表現】社会問題に取り組む発明家や起業家について、情報や考えを発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】社会問題への取組を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。
	5	Lesson9 The World's Poorest President	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】同格のthat節、強調構文、倒置、省略を用いた文構造、及び共感する表現の意味や働きを理解している。 【思考・判断・表現】幸せについて、グループで絵話を話し合った内容を基に、発表するための原稿を書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】筆者の考えを理解し、幸せについての考えを話し、質疑応答している。
	6	Lesson 10 Living in an E-Society-The Pros and Cons	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】多様な語句や文、議論でよく使う表現を理解している。 【思考・判断・表現】文章の展開や書き手の意図を把握し、詳細を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】物語を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。
	7	Reading 2 Syria's Secret Library	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】既習の文法事項や表現に注意しながら、物語を聞き取り、読み取る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】シリアの秘密図書館への理解を深めるために、文章の展開を把握し、概要や要点を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】物語を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。
三年（発展力養成期） 二学期	9	大学入試共通テスト等の教材（演習・発展問題）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】既習の文法・語法及び語彙を利用して、英文を読み、自分の考えを英文で表現している。 【思考・判断・表現】各進路先の入試問題形式に応じて、理解判断し、表現できる。考え方を発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている。
	10	大学入試共通テスト等の教材（演習・発展問題）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】既習の文法・語法及び語彙を利用して、英文を読み、自分の考えを英文で表現している。 【思考・判断・表現】各進路先の入試問題形式に応じて、理解判断し、表現できる。考え方を発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている。
	11	大学入試共通テスト等の教材（演習・発展問題）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】既習の文法・語法及び語彙を利用して、英文を読み、自分の考えを英文で表現している。 【思考・判断・表現】各進路先の入試問題形式に応じて、理解判断し、表現できる。考え方を発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている。
	12	大学入試共通テスト等の教材（演習・発展問題）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】既習の文法・語法及び語彙を利用して、英文を読み、自分の考えを英文で表現している。 【思考・判断・表現】各進路先の入試問題形式に応じて、理解判断し、表現できる。考え方を発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている。
三年（応用力養成期） 三学期	1	演習・発展問題	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】既習の文法・語法及び語彙を利用して、英文を読み、自分の考えを英文で表現している。 【思考・判断・表現】各進路先の入試問題形式に応じて、理解判断し、表現できる。考え方を発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている。
	2	演習・発展問題	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】既習の文法・語法及び語彙を利用して、英文を読み、自分の考えを英文で表現している。 【思考・判断・表現】各進路先の入試問題形式に応じて、理解判断し、表現できる。考え方を発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている。
	3	演習・発展問題	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】既習の文法・語法及び語彙を利用して、英文を読み、自分の考えを英文で表現している。 【思考・判断・表現】各進路先の入試問題形式に応じて、理解判断し、表現できる。考え方を発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている。

		評価の観点内容	評価方法
知識・技能		外国語学習を通して、言語やその運用についての知識及び技能を身につけるとともに言語の背景にある文化等を理解する。	<各学期の評価方法> ①学年末考査の成績 ②各課の評価問題の成績 ③授業への取り組みの様子 ④課題の提出状況と解答内容
思考・判断・表現		外国語の4技能（読むこと・聞くこと・話すこと・書くこと）の学習を通して、情報や考えなどを的確に理解・判断し、適切に表現することができる	<学年の評価方法> 知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3つの観点から各学期の成績から総合的に判断して、年間の評価とする。
主体的に学習に取り組む態度		コミュニケーションに関心をもち、積極的な言語活動を通してコミュニケーションを図ろうとする中で、学ぶため意欲と人間性を高める。	

使用教科書	MV WAY English Communication III (三省堂)	副教材等	英作基本文例600・Scramble英文法・語法・Database Avail 英単語・熟語・大学入学共通テスト及び記述式試験対策問題集他
学習の到達目標	英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと【やり取り】、話すこと【発表】、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。		

学期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準						
			力挨拶・礼儀への基礎知識や根柢能力	と考る・学美力践の知識や技能	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・未未を見つめる力	課題を見つめる力	力客観的メタに認知事を見つめる力	論理的思考力	シカ情報分析力	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	説明力を切り拓くキャラクタ力	主体的な行動力	一協力ムワリク	
三年（基礎力養成期）	4	Unit 1 Reading Skill 1-4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】必要な情報を聞き取り、読み取る。意味のまとまりごとに理解する。キーワードや内容語から概要を把握する。複数情報を利用して聞き取り、読み取る。 【思考・判断・表現】それぞれの概要や要点、必要な情報を、聞き取って捉え、読み取ることで、概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】レポートでの概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら主体的に読み取り捉えようとしている。
	5	Unit 1 Reading Skill 5-8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】論理の展開（例列・例示）を把握する。論理の展開（原因・結果）を把握する。話の筋道や筆者の意図を推測する。 【思考・判断・表現】情報が設定されていないものを買うことの利点、欠点について考え、本文の多様な語句や文を適切に用いて伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを発表して伝えようとしている。
	6	Unit 2 Lesson1-2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】関係代名詞（主格）、付帯状況W、関係副詞、現在完了進行形、強調構文を理解している。 【思考・判断・表現】健蔵が設定されていないものを買うことの利点、欠点について考え、本文の多様な語句や文を適切に用いて伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを発表して伝えようとしている。
	7	Unit 2 Lesson3-4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】現在完了、関係代名詞の非制限用法help+動詞の原形、助動詞のついた受け身について理解している。 【思考・判断・表現】社会的な問題に貢献の対話の概要や要点、詳細、必要な情報の詳細を聞き取る、読み取る。 【主体的に学習に取り組む態度】基本的な語句や文を用いて、主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えるようとしている。
三年（発展力養成期）	9	Unit 2 Lesson5-6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】関係代名詞、現在完了の受け身、過去完了の受け身、分詞構文を身に付けている。 【思考・判断・表現】英語のつづりの特徴についての記事から概要や要点を捉える。AIの活用が我々の生活に与える影響を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】グループで話し合った内容を基に、主体的に情報や考えを発表して伝えようとする。
	10	Unit 2 Lesson7-8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】現在完了進行形、前置詞+関係代名詞、分詞構文、比較、仮定法を身につけて、複数問題等を理解する。 【思考・判断・表現】アップサイクル製品についてグループで話し合った内容を基に、論理的に情報や考えを発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】アップサイクル製品について、スピーチの概要や要点を把握し、自分の考えをワークシートを参考にしながら伝えようとする。
	11	Unit 2 Lesson9-10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】関係代名詞の非制限用法、仮定法、助動詞+受け身、現在完了の受け身、現在完了進行形などを用いて社会問題を理解する。 【思考・判断・表現】手首開発や大根を導入することの是非について文章の展開に注意しながら、それぞれの意見を論議する。 【主体的に学習に取り組む態度】グループで話し合った内容を基に、多様な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを発表して伝えようとしている。
	12	大学入試共通テスト等の教材（演習・発展問題）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】これまで学んだ文法、語法及び語彙を利用して、論説、小説などの幅広い英文を読み、必要な情報を取り出してまとめたり、自分の考えをまとめて英文で表現する。 【思考・判断・表現】各進路先の入試問題形式（客観式読解問題、記述式総合問題、英作文等）に応じて、理解判断し、表現できる。考え方を発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】あらゆる形式の入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲をさらに向上させる。
三年（応用力養成期）	1	大学入試共通テスト等の教材（演習・発展問題）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】これまで学んだ文法、語法及び語彙を利用して、論説、小説などの幅広い英文を読み、必要な情報を取り出してまとめたり、自分の考えをまとめて英文で表現する。 【思考・判断・表現】各進路先の入試問題形式（客観式読解問題、記述式総合問題、英作文等）に応じて、理解判断し、表現できる。考え方を発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】あらゆる形式の入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲をさらに向上させる。
	2	大学入試共通テスト等の教材（演習・発展問題）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】これまで学んだ文法、語法及び語彙を利用して、論説、小説などの幅広い英文を読み、必要な情報を取り出してまとめたり、自分の考えをまとめて英文で表現する。 【思考・判断・表現】各進路先の入試問題形式（客観式読解問題、記述式総合問題、英作文等）に応じて、理解判断し、表現できる。考え方を発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】あらゆる形式の入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲をさらに向上させる。
	3	大学入試共通テスト等の教材（演習・発展問題）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】これまで学んだ文法、語法及び語彙を利用して、論説、小説などの幅広い英文を読み、必要な情報を取り出してまとめたり、自分の考えをまとめて英文で表現する。 【思考・判断・表現】各進路先の入試問題形式（客観式読解問題、記述式総合問題、英作文等）に応じて、理解判断し、表現できる。考え方を発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】あらゆる形式の入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲をさらに向上させる。

評価の観点内容			評価方法
知識・技能			<各学期の評価方法> ①学年末考査の成績 ②各課の評価問題の成績 ③授業への取り組みの様子 ④課題の提出状況と解答内容 ⑤授業時間内に行うパフォーマンス課題の成績
思考・判断・表現			<学年の評価方法> 知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して、年間の評価とする。
主体的に学習に取り組む態度			コミュニケーションに関心を持ち、積極的な言語活動を通してコミュニケーションを図ろうとする中で、学ぶ意欲と人間性を高める。

使用教科書	Vision Quest English Logic and Expression III (啓林館)	副教材等	英作基本文例 6 〇〇 他
学習の到達目標	「論理・表現 I, II」の学習内容を踏まえ、「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動を行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。		

評価の観点内容	評価方法
知識・技能 ○英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。 ○目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けている。	上に示す観点に基づいて学習のまとまりごとにA, B, Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。
思考・判断・表現 ○目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。	<p>【評価対象】</p> <p>(a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) インタビューテスト・発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート等 (c) ノート・ワーク・レポート等の提出物 (d) 小テスト・定期考查等のペーパーテスト</p> <p>【評価結果】</p> <p>A (3) : おおむね満足できる状況 B (2) : 十分満足できる状況 C (1) : 努力を要する状況</p>
主体的に学習に取り組む態度 ○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。	

使用教科書	家庭基礎 持続可能な未来をつくる (第一学習社)	副教材等	家庭基礎学習ノート(第一学習社) ライフデザイン 資料+成分表+ICT(実教出版)
学習の到達目標	生活の営みに係る見方・考え方を働きかせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。		

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	人間の生涯にわたる発達と生活の好みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭・衣食住・消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかる技能を身に付けていく。	知識や技能の習得を確認するテスト
思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活のなかで問題を見いだして課題を設定し、解決策を構築し、実践・評価・改善し、考案したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けていく。	ワークシート、レポート課題、グループワーク、実習状況、思考・判断・表現を確認するテスト
主体的に学習に取り組む態度	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。	ワークシート、レポート課題、グループワークの態度及び取り組み状況

使用教科書	実教出版「高校情報 I Python」	副教材等	Life is Tech Lesson
学習の到達目標	・効果的なコミュニケーションの実現をため、情報活用について知識技能を習得し、情報社会での人の間わりについて理解する。 ・問題の発見・解決に向けて情報を活用する力を習得する。 ・情報と情報技術を適切に活用し、情報社会に主体的に参画する態度を身に付ける。		

学 期	月	单元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容等
			開拓力 力	批判思考 など の実践的 な学 材 力 科 知 和	能 力 コ ニ ク ニ ケ ー シ ョ ン	情 報 收 集 力	想 像 力	課 題 を 発 見 す る 力	め る 考 え 方 法 の 一 部 に メ 物 タ を 認 知 す る 力	論 理 的 な 思 考 方 法 の 一 部 に メ 物 タ を 認 知 す る 力	創 造 力	情 報 發 信 力	課 題 を 解 決 す る 力	リ テ ラ ル 設 計 力	主 体 的 な 行 動 力
一年（基礎養成期・実践力養成期）	4	第1章 情報社会 情報と情報社会 問題解決の考え方 法規による安全対策 個人情報とその扱い 知的財産権の概要と 産業財産権 著作権	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「知技」 ・情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けている。 ・情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解している。 ・情報技術が人々社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。 ・「主」 ・状況に応じ、情報と情報技術を活用し問題を発見・解決する方法について考えている。 ・情報に関する法規制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察している。 ・「主」 ・情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考 えている。 ・情報技術の特徴とコミュニケーションの手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に 理解している。 ・情報デザインが人々社会に果たした役割を再検討している。 ・効果的なコミュニケーションを行ったための情報デザインの考え方や方法を理解するととも に、表現する技術を身に付けています。 ・「主」 ・コミュニケーションの特徴とコミュニケーションの目的の明確にし、適切かつ効果的に情報デザインを考えている。 ・情報技術のコミュニケーションを行ったための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、 評価し改善しようと/orして。 ・情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。
	5	第2章 情報デザイン コミュニケーションと メディア 情報デザイン表現工夫 プレゼンテーション Webページと 情報デザイン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「知技」 ・「モデル」の特性とコミュニケーションの手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に 理解している。 ・情報デザインが人々社会に果たした役割を再検討している。 ・効果的なコミュニケーションを行ったための情報デザインの考え方や方法を理解するととも に、表現する技術を身に付けています。 ・「主」 ・コミュニケーションの特徴とコミュニケーションの目的の明確にし、適切かつ効果的に情報デザインを考えている。 ・情報技術のコミュニケーションを行ったための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、 評価し改善しようと/orして。 ・「主」 ・コミュニケーションが情報社会に果たす役割について考えながら情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法について考えている。 ・コミュニケーションの特徴とコミュニケーションの目的の明確にし、適切かつ効果的に情報デザインを考えている。 ・情報技術のコミュニケーションを行ったための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、 評価し改善しようと/orして。 ・「主」 ・コミュニケーションが情報社会に主体的に参画しようとしている。
	6	第3章 デジタル デジタル情報の特徴 数値と文字の表現 演算の仕組み 音の表現 画像の表現 コンピュータの構成と 動作 コンピュータの性能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「知技」 ・「デジタルデータ」とアナログデータの違いやコンピュータで扱う文字が文字 コードという数字で表現されていることを理解している。 ・音や画像がどのようにしてデジタル化されているか理解している。 ・コンピュータの外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現 計算に関する世界について理解している。 ・「思判表」 ・首や画像、動画などのデータ量を求める方法を身に付け、記憶容量について 把握し、管理することができる。 ・コンピュータが扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について 考察している。 ・「主」 ・問題解決にコンピュータを活用し、自ら結果を振り返って改善しようと している。
	7	第4章 ネットワーク ネットワークと プロトコル インターネットの仕組み Webページの閲覧と メールの送受信 情報システム 情報システムを支える データベース データベースの仕組み 個人による安全対策 安全のための情報技術	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「知技」 ・情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セ キュリティを確保するための方法や技術について理解している。 ・データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報シ ステムに関する世界について理解している。 ・「思判表」 ・音や画像、動画などのデータ量を求める方法を身に付け、記憶容量について 把握し、管理することができる。 ・コンピュータが扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について 考察している。 ・「主」 ・問題解決にコンピュータを活用し、自ら結果を振り返って改善しようと している。
	9	第5章 プログラミング アルゴリズムと プログラミング プログラミングの基本 配列 関数 探索のプログラム 整列のプログラム オブジェクト指向 プログラミング プログラミングの設計手法 オーブンデータの活用 プログラミングによる 動的シミュレーション 計測・制御と プログラミング	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「知技」 ・アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報 通信ネットワークを活用する方法について理解し、技能を身に付けている。 ・プログラミング言語の述話方法について理解し、アルゴリズムどおり動作で きるよう技能を身に付けています。 ・「思判表」 ・目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択 するなどに、情報セキュリティを確保する方法について考えている。 ・データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、 評価し改善することができる。 ・「主」 ・情報システムにより提供されるサービスや情報通信ネットワークを目的に応 じて適切かつ効果的に活用しようと/orしている。 ・データを粘り強く多面的に精査し、データに含まれる傾向を自己調整しなが ら見いだそうとしている。
	10	第6章 プログラミング アルゴリズムと プログラミング プログラミングの基本 配列 関数 探索のプログラム 整列のプログラム オブジェクト指向 プログラミング プログラミングの設計手法 オーブンデータの活用 プログラミングによる 動的シミュレーション 計測・制御と プログラミング	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「知技」 ・アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報 通信ネットワークを活用する方法について理解し、技能を身に付けている。 ・プログラミング言語の述話方法について理解し、アルゴリズムどおり動作で きるよう技能を身に付けています。 ・「思判表」 ・目的に応じてアルゴリズムを考え、適切な方法で表現し、プログラミングに よりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評 価し改善が可能である。 ・「主」 ・情報システムにより提供されるサービスや情報通信ネットワークを目的に応 じて適切かつ効果的に活用しようと/orしている。 ・データを粘り強く多面的に精査し、データに含まれる傾向を自己調整しなが ら見いだそうとしている。
三学期	1	第7章 問題解決 データの収集と整理 ソフトウェアを利用した データの処理 統計量とデータの尺度 データの分布と 検定の考え方 時系列分析と回帰分析 区間推定とクロス集計 モデル化と シミュレーション 確率的モデルの シミュレーション	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「知技」 ・社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションをとお しモデルを評価し改善する方法について理解している。 ・「思判表」 ・目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果 を踏まえて問題の適切な解決方法を考えている。 ・「主」 ・問題解決にコンピュータを活用し、自ら結果を振り返って改善しようと している。
	2	第8章 問題解決 データの収集と整理 ソフトウェアを利用した データの処理 統計量とデータの尺度 データの分布と 検定の考え方 時系列分析と回帰分析 区間推定とクロス集計 モデル化と シミュレーション 確率的モデルの シミュレーション	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「知技」 ・社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションをとお しモデルを評価し改善する方法について理解している。 ・「思判表」 ・目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果 を踏まえて問題の適切な解決方法を考えている。 ・「主」 ・問題解決にコンピュータを活用し、自ら結果を振り返って改善しようと している。
	3	第9章 問題解決 データの収集と整理 ソフトウェアを利用した データの処理 統計量とデータの尺度 データの分布と 検定の考え方 時系列分析と回帰分析 区間推定とクロス集計 モデル化と シミュレーション 確率的モデルの シミュレーション	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「知技」 ・社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、情報モラルの 必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の想像に参画しようとする態度を養 えたい。 ・「思判表」 ・自らの学習状況を把握し、課題や論述・レポート、定期考査や確認テ ストの訂正や反省等を踏まえ、3段階に区分し評価する。

		評価の内容	評価方法
知識・技能		・情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解と、情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評 価・改善するための基礎的な理論や方法を理解できたか。	定期考査もしくは単元テストのいずれかにおいて各単元ごとの知識の 習得を問う問題と理解を問う問題とを出題し、点数によって評価を行 い、3段階に区分し評価する。
思考・判断・表現		・情報手段を適切にかつようすることを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・ 想像し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できるか。	定期考査もしくは単元テストのいずれかにおいて各単元ごとに思考・判断・表 現を等問題を評価する。 また、課題を解決するような論述・レポートの提出やグループ活動における貢 献度を踏まえ、3段階に区分し評価する。
主体的に学習に取り組む態度		・社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、情報モラルの 必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の想像に参画しようとする態度を養 えたい。	自らの学習状況を把握し、課題や論述・レポート、定期考査や確認テ ストの訂正や反省等を踏まえ、3段階に区分し評価する。